

大刀洗町学校施設長寿命化計画

令和 8 年 3 月

大刀洗町 教育委員会

目次

第1章 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等	1
1. 背景	1
2. 目的	1
3. 計画の位置づけ	2
4. 計画期間	2
5. 対象施設概要	3
第2章 学校施設の目指すべき姿の整理	5
1. 基本構想の将来像	5
2. 学校施設の目指すべき姿	6
第3章 大刀洗町の実態	7
1. 大刀洗町を取り巻く状況	7
(1) 人口の概要	7
(2) 将来人口の推計	10
(3) 財政の概要	12
2. 学校施設の運営状況・活用状況	14
(1) 保有教室の活用状況	14
(2) 児童・生徒数の推移	15
(3) 児童・生徒数の見通し	17
(4) 学校施設配置状況	19
(5) 学校施設毎の全体コスト	24
(6) 学校施設全体のコスト	27
(7) 対象施設の保有量	28
(8) 今後の維持・更新コストの把握	29
(9) 学校施設の活用状況	30
3. 学校施設等の老朽化状況	31
(1) 劣化状況調査に向けた準備	31
(2) 事前ヒアリング	32
(3) 老朽化状況調査と健全度判定	33
(4) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況評価	37
(5) 整備レベルの把握と評価	40
(6) 長寿命化型整備方法による維持・更新コスト	41

第4章 学校施設整備の基本的な方針等	42
1. 学校施設の規模・配置計画等の方針	42
(1) 学校施設の長寿命化計画の基本方針	42
(2) 学校施設の規模・配置計画等の方針	44
2. 改修等の基本的な方針	45
(1) 長寿命化の方針	45
(2) 予防保全の方針	46
(3) 目標使用年数	46
(4) 改修周期の設定	46
第5章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等	47
1. 改修等の整備水準	47
2. 維持管理の項目・手法等	48
(1) 維持管理の項目・手法	48
(2) 情報の更新と整理	48
第6章 長寿命化の実施計画	51
1. 優先順位付けと実施計画	51
(1) 優先順位の設定条件	51
(2) 優先順位の条件	52
(3) 優先順位の設定	53
2. 今後5年間の実施計画の策定	54
3. 長寿命化のコストの見通しと長寿命化の効果	56
(1) 長寿命化のコストの見通し	56
(2) 長寿命化の効果	56
(3) 維持・更新の課題と今後の方針	58
第7章 長寿命化計画の継続的運用方針	59
1. 情報基盤の整備と活用	59
2. 推進体制等の整備	59
3. フォローアップ	60

第1章 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

1. 背景

我が国の公立学校施設は、第2次ベビーブーム世代の増加に伴い、昭和40年代後半から50年代にかけて多く建築されましたが、それらの施設が今、一斉に更新時期を迎えつつあり、老朽化の波が押し寄せています。

学校施設は、未来を担う子供たちが集い、生き生きと学び、生活をする場として学校教育活動を行うための基本的な教育条件であるため、充実した教育活動を存分に展開できるよう、機能的な施設環境を整えるとともに、豊かな人間性を育むのにふさわしい、快適で十分な安全性、防災性、防犯性や衛生的な環境を備えた安全・安心なものである必要があります。

また、地域住民にとっては生涯にわたる学習、文化、スポーツなどの活動の場であり、非常災害時には避難所としての役割も果たす重要な施設です。

大刀洗町（以下、「本町」と言います。）は、平成25（2013）年度時点、学校施設として5施設（総延床面積 33,855.4 m²）を有しており、延床面積でみると、全ての町所有公共施設の53.0%を占めています。

昭和40年代から50年代に建築された施設が多数あり、築30年を経過した施設が半数以上あることから、今後、約20年の間に多くの小中学校で耐用年数が到来することが見込まれます。

また、本町においても人口の減少が予測されており、少子高齢化の進展による人口構造の変化により、本町の財政面でも厳しい状況となることが予想されます。

2. 目的

現在、本町では、公共施設やインフラ全体における整備の基本的な方針として「大刀洗町公共施設等総合管理計画（令和6（2024）年3月改訂）」（以下、「総合管理計画」と言います。）を策定し、限られた財源の中で、施設を安全・安心に利用できるよう、また、適正な規模や配置等により、町民サービスの維持・向上が図れるよう取り組みを進めているところです。

本計画は、この総合管理計画に基づき、学校施設に関する個別施設計画として、学校施設を対象に現地調査等を踏まえて現状の評価を行い、ライフサイクルコスト、保全優先度等を勘案しつつ、今後の維持保全の方向性を検討し、部位別や学校別の優先順位を考え、整備内容、時期、費用等の具体的な計画（以下、「長寿命化計画」と言います。）を策定することを目的とします。

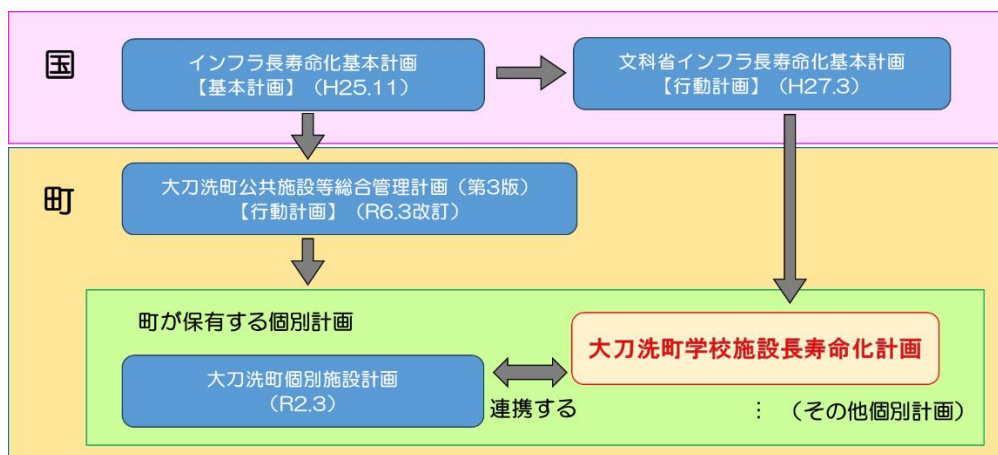
本計画に基づき、学校施設の長寿命化を図ることにより、トータルコストの縮減と平準化を図り、厳しい財政状況においても計画的に保全を実施することで、長く安全・安心な学校施設を維持するとともに、多様化する教育環境へ対応していきます。

3. 計画の位置づけ

本計画は、「インフラ長寿命化基本計画」及び平成 26（2014）年 4 月に総務省より示された「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針」に基づき、公共施設等の総合的な管理（マネジメント）の方針を示すものです。

そのため、本計画の実施にあたっては、こうした国の動きとの整合を図り、本町の上位計画である総合管理計画等に基づく町政運営を行うとともに、公共施設等に関連する個別計画、新地方公会計による固定資産台帳等と連携、調整を図りながら、学校施設の総合的な管理を行う計画として位置づけ、取り組みを進めていくこととします。

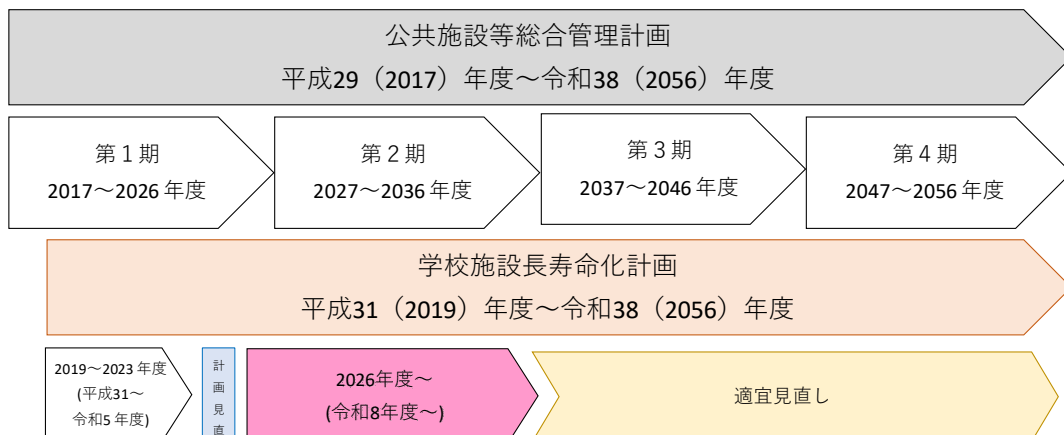
◆計画の位置づけ



4. 計画期間

本計画は総合管理計画における個別施設計画として位置づけられることから、総合管理計画に位置付けられた計画期間に基づき 30 年後の 2056 年を計画の目標年とします。実施にあたっては、施設の老朽化状況等の実態を継続的に把握し、PDCAサイクルによる実行システムを構築した上で、概ね 10 年後を目安に、実施計画及び中期整備計画を適宜見直すものとします。

◆計画期間



5. 対象施設概要

本計画の対象施設は、学校施設として所有している5施設とします。

また、本計画における長寿命化計画の対象建物は、学校施設のうち、長寿命化事業によるコスト低減効果の薄い小規模の建物を除く18棟(27,866㎡)を対象とします。

◆学校施設一覧

区分	No.	学校名称	住所
町立小学校	1	大刀洗小学校	福岡県大刀洗町上高橋755番地1
	2	菊池小学校	福岡県大刀洗町山隈1344番地3
	3	本郷小学校	福岡県大刀洗町本郷4669番地1
	4	大堰小学校	福岡県大刀洗町守部465番地
町立中学校	5	大刀洗中学校	福岡県大刀洗町本郷515番地

■ : 築50年以上 □ : 築30年以上

	通し 番号	学校調査 番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床 面積(㎡)	建築年度		築年数
									西暦	和暦	
1	1	2491	大刀洗小学校	校舎1	004,006,008	RC	2	1,793	1963	S38	62
	2	2491	大刀洗小学校	校舎2	015,019	RC	2	1,849	1989	H元	36
	3	2491	大刀洗小学校	校舎3	014	RC	1	566	1986	S61	39
	4	2491	大刀洗小学校	屋内運動場	013,017	RC	1	624	1973	S48	52
2	5	2492	菊池小学校	校舎1	022,023,024,032	RC	2	2,049	1987	S62	38
	6	2492	菊池小学校	校舎2	011,013,014,027,029,018	RC	2	1,819	1970	S45	55
	7	2492	菊池小学校	校舎3	020,021	RC	1	655	1983	S58	42
	8	2492	菊池小学校	校舎4	033	RC	2	703	2024	R6	1
	9	2492	菊池小学校	屋内運動場	015,028	RC	1	622	1975	S50	50
3	10	2493	本郷小学校	校舎1	016,018,019	RC	3	4,025	1982	S57	43
	11	2493	本郷小学校	屋内運動場	015,021	RC	1	803	1977	S52	48
4	12	2494	大堰小学校	校舎1	003,004,016,017	RC	2	1,652	1963	S38	62
	13	2494	大堰小学校	校舎2	011	RC	2	685	1970	S45	55
	14	2494	大堰小学校	校舎3	014	RC	2	905	1986	S61	39
	15	2494	大堰小学校	屋内運動場	012	RC	1	782	1977	S52	48
5	16	4705	大刀洗中学校	校舎1	022,019	RC	3	4,640	2007	H19	18
	17	4705	大刀洗中学校	校舎2	015	RC	2	2,753	1988	S63	37
	18	4705	大刀洗中学校	屋内運動場	009-1,009-2,018	RC	1	941	1967	S42	58

◆学校施設一覧（詳細）

：築30年以上

：築50年以上

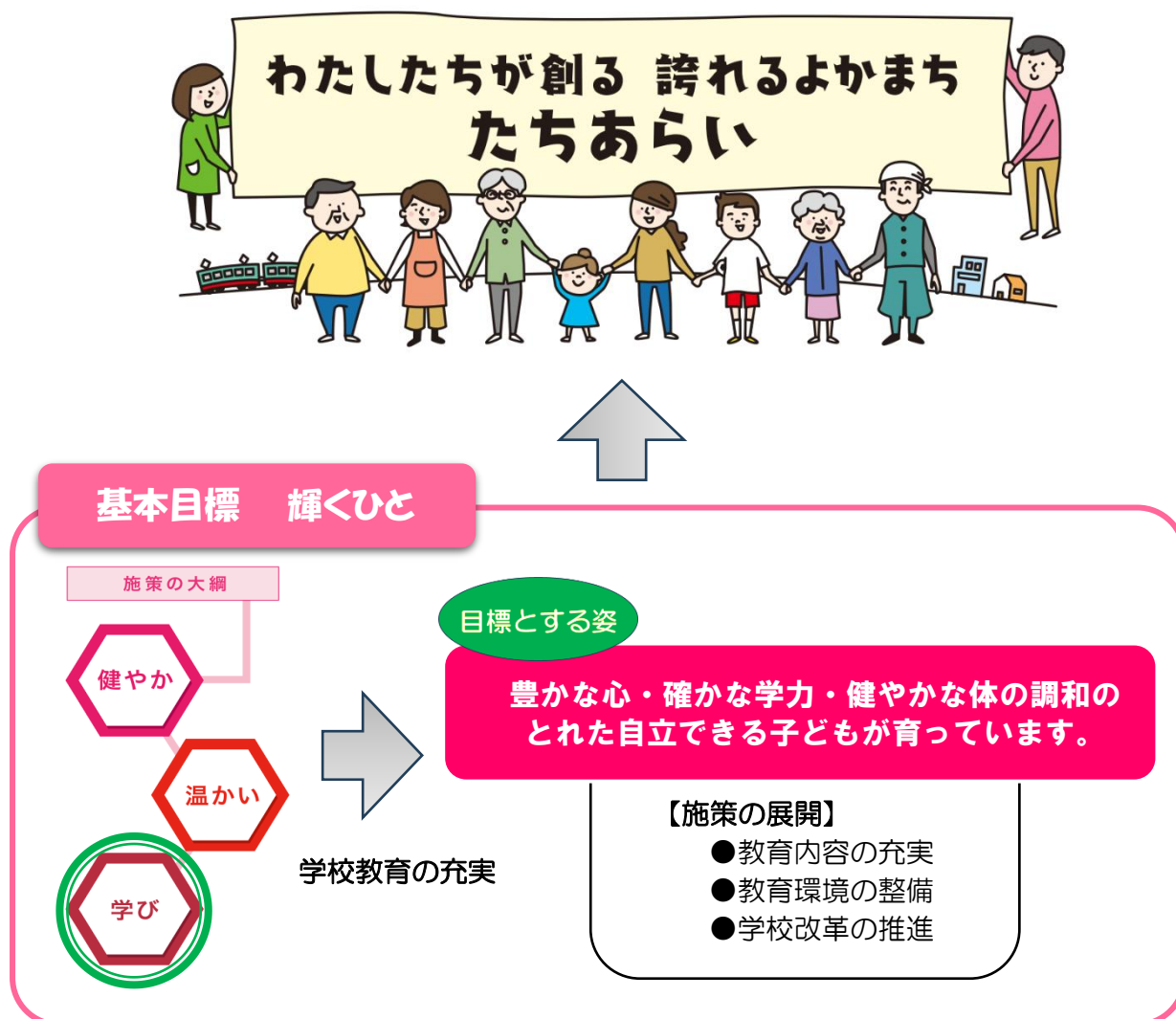
No.	学校名	学校所在地	学校調査番号	建物区分	棟番号	枝番号	建物名	建物区分⑥	構造区分	階数	建築年月		築年数	延床面積
											元号	年		
1	タチアライ ショウガッコウ 大刀洗小学校	オオアザカミタカハシ 大字上高橋755-1	2491	校舎1	004		南校舎4	校	R	2	S	38	62	898
					006		南校舎6	校	R	2	S	39	61	799
					008		南校舎8	校	R	1	S	39	61	96
				校舎2	015		北校舎	校	R	2	H	01	36	1,820
					019		職員便所	校	S	1	H	22	15	29
				校舎3	014		給食室	校	R	1	S	61	39	566
					013		屋内運動場	屋	R	1	S	48	52	600
2	キクチ ショウガッコウ 菊池小学校	オオアザヤマグマ 大字山隈1344-3	2492	校舎1	022		教室棟 (北校舎)	校	R	2	S	62	38	1,745
					023		渡り廊下	校	R	1	S	62	38	172
					024		便所	校	R	1	S	62	38	25
					032		昇降口	校	R	2	H	29	08	107
				校舎2	011		教室棟 (南校舎)	校	R	2	S	45	55	869
					013			校	R	1	S	49	51	408
					014				R	1	S	49	51	26
					018		教室棟	校	R	2	S	53	47	487
					027		女性更衣室		R	1	H	02	35	22
					029		中庭出入口		R	1	H	02	35	7
				校舎3	020		給食室	校	R	1	S	58	42	156
					021		食堂	校	R	1	S	58	42	499
				校舎4	033		教室棟 (西校舎)	校	RC	2	R	06	01	703
				屋内体育館	015		屋内運動場	屋	R	1	S	50	50	600
					028		倉庫	屋	S	1	H	02	35	22
3	ホンゴウショウガッコウ 本郷小学校	オオアザホンゴウ 大字本郷4669-1	2493	校舎1	016		校舎	校	R	3	S	56	44	3,552
					018		食堂	校	R	1	S	56	44	332
					019		給食室	校	R	3	S	56	44	141
				屋内体育館	015		屋内運動場	屋	R	1	S	52	48	782
					021		倉庫	校	S	1	H	22	15	21
4	オオゼキショウガッコウ 大堰小学校	オオアザモリベ 大字守部465	2494	校舎1	003		北棟校舎	校	R	2	S	38	62	1,132
					004			校	R	2	S	39	61	389
					016		昇降口	校	S	1	H	21	16	125
					017		便所	校	S	2	H	01	36	6
				校舎2	011		南棟校舎	校	R	2	S	45	55	685
				校舎3	014		特別教室棟・給食室	校	R	2	S	61	39	905
5	タチアライ チュウガッコウ 大刀洗中学校	オオアザホンゴウ 大字本郷515	4705	校舎1	022		北校舎	校	R	3	H	19	18	4,150
					019		給食室	校	R	1	H	18	19	490
				校舎2	015		南校舎	校	R	2	S	63	37	2,753
					009	1	屋内運動場	屋	R	1	S	42	58	795
					009	2	倉庫	屋	S	1	S	61	39	40
				屋内体育館	018		屋内運動場	屋	S	1	H	01	36	106

第2章 学校施設の目指すべき姿の整理

1. 基本構想の将来像

令和7（2025）年度に目標年度を迎える第5次大刀洗町総合計画では、基本構想において本町の将来像を『わたしたちが創る 誇れるよかまち たちあらい』と定め、3つの基本目標の一つに「輝くひと」を掲げ、互いの人権を尊重し支え合う温かい関係の中で、いつまでも多様な学びを得ながら成長し、健やかに充実した生活を送る人が増えていくことを目指すこととしています。

また、「施策の大綱」の中でも、個性や能力を伸ばすとともに、豊かな心や志をもってたくましく生きる力を培う一層の教育内容の充実とともに、特別支援教育の充実や安全で安心な学校づくりを推進することとしています。



資料：第5次大刀洗町総合計画より抜粋・要約

2. 学校施設の目指すべき姿

前述の「目標とする姿」を実現するための施設であることを前提とし、総合管理計画における、本町の公共施設のあり方についての内容を踏まえつつ、「学校施設整備基本構想の在り方について」（学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議 平成 25 年 3 月）を参考として、本町における学校施設の目指すべき姿を以下のように設定します。

1. 学習活動への適応性を確保する教育環境の整備（学習空間の充実）

- ・学校施設は、基礎的・基本的な学力の定着を図る子供たちの学習・生活の場であり、学校教育活動を行うための基本的な教育条件であるため、充実した教育活動を存分に展開できるよう、機能的な施設環境を整えます。
- ・地球温暖化等の環境問題に対応するため、環境を考慮した学校施設であるエコスクール化を推進することや、教育内容・方法等の変化、教育の情報化、バリアフリー化等の様々な社会的要請に適切に対応するため、教育環境の質的向上を図ります。

2. 安全性・快適性を備えた施設環境の実現（生活空間の充実）

- ・学校は、児童・生徒にとって「学びの場」であるとともに1日の約3分の1を過ごす「生活の場」であることから、豊かな人間性を育むのにふさわしい、快適で十分な安全性、防災性、防犯性や衛生的な環境を備えた安全・安心な施設環境を整えます。
- ・学習能率の向上に資する快適な学習環境を備えるとともに、児童・生徒の学校への愛着や思い出につながり、また、地域の人々が誇りや愛着をもつことができる学校施設を目指します。
- ・学校施設は、日頃、学校を訪れない保護者や子どもたち等が、相談や学校行事の際に教員・施設を訪れやすい空間として、また、教職員の職務や活動に配慮した空間・環境を整えます。

3. 地域活動の拠点施設としての施設整備（地域との連携の充実）

- ・学校施設は、地域住民にとって最も身近な施設であり、生涯にわたる学習、文化、スポーツなどの活動の場として、また、地震等の非常災害時には避難所としても重要な役割を担っているため、必要に応じ他の文教施設や高齢者福祉施設との連携の推進や防災機能の強化を図ります。
- ・学校が社会全体で子供たちの学びを支援する場となり、地域の振興・再生にも貢献するコミュニティの拠点としての役割を果たすよう、地域の実情に応じ、学校施設と他の公共施設等の複合化を進めていきます。

第3章 大刀洗町の実態

1. 大刀洗町を取り巻く状況

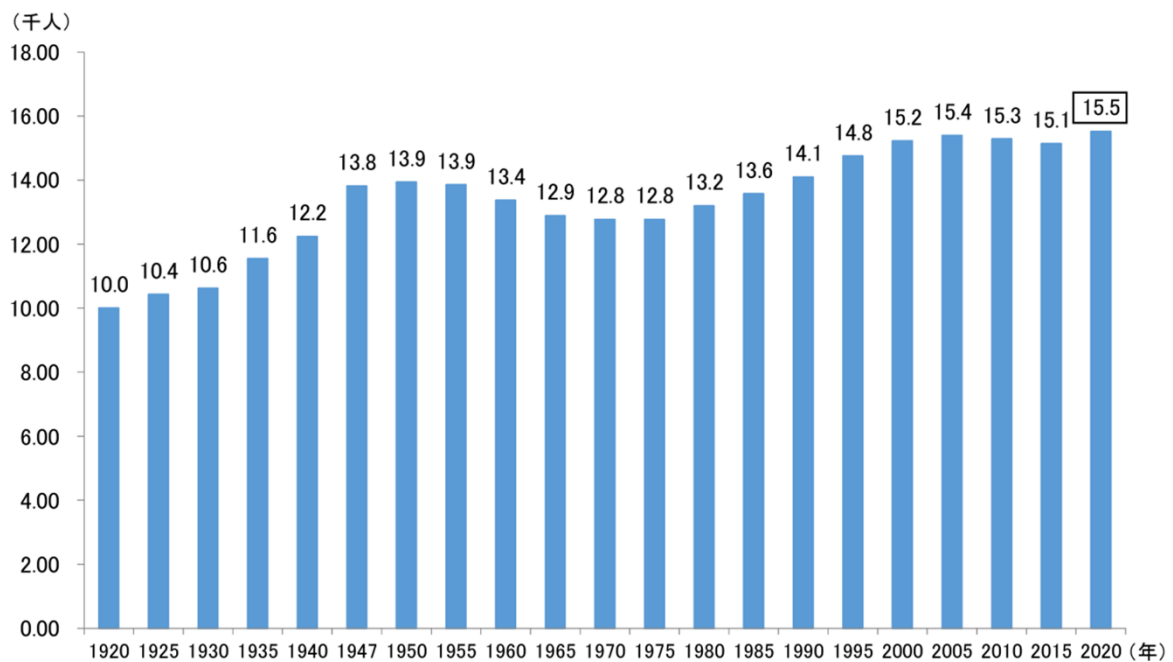
(1) 人口の概要

総人口は平成22(2010)年から減少していましたが、令和2(2020)年に再び増加に転じています。年少人口(15歳未満)は微増、老年人口(65歳以上)は一貫して増加している一方、生産年齢人口は減少傾向にあります。本郷と菊池校区は増加傾向、大刀洗校区は横ばい、大堰校区は減少傾向にあります。

① 総人口の推移

国勢調査による総人口は昭和45(1970)年以降、一貫して増加を続け、平成22(2010)年から減少傾向になりましたが、令和2(2020)年では再び増加に転じています。住民基本台帳による近年の年度末人口は平成27(2015)年度以降、増加傾向にあります。また、世帯数は一貫して増加しています。

◆総人口の推移



(単位：千人)

	1920年	1925年	1930年	1935年	1940年	1947年	1950年	1955年	1960年	1965年	1970年
総数	10.0	10.4	10.6	11.6	12.2	13.8	13.9	13.9	13.4	12.9	12.8

	1975年	1980年	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
総数	12.8	13.2	13.6	14.1	14.8	15.2	15.4	15.3	15.1	15.5

出典：総務省「国勢調査(1920(大正9)年～2020(令和2)年)」

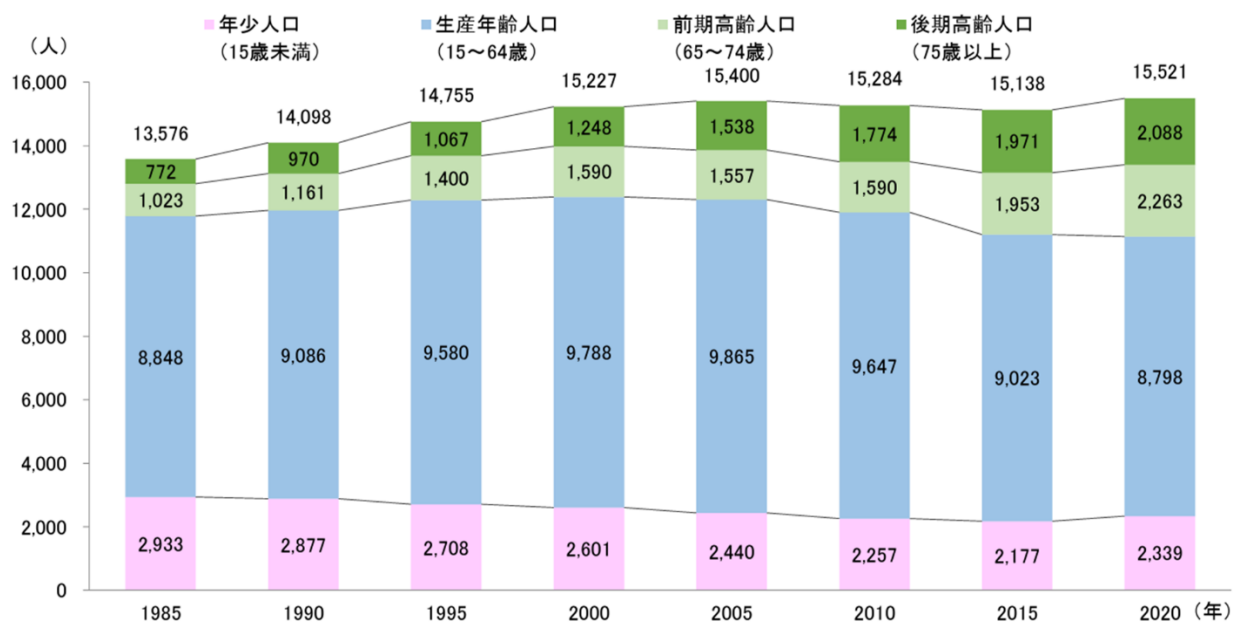
資料：大刀洗町公共施設等総合管理計画

② 年齢4区分別人口の推移

年少人口は減少が続いていましたが、令和2（2020）年には増加に転じています。老年人口（65歳以上）は一貫して増加が続いています。とりわけ、75歳以上の後期高齢人口の伸びが大きく、昭和60（1985）年から令和2（2020）年にかけて、前期高齢者は2.2倍なのに対し、後期高齢者は2.7倍となっています。

生産年齢人口は平成17（2005）年をピークに減少傾向にあります。

◆年齢4区分別人口の推移（実数）



（単位：人）

	1985年	1990年	1995年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年
年少人口 (15歳未満)	2,933	2,877	2,708	2,601	2,440	2,257	2,177	2,339
生産年齢人口 (15～64歳)	8,848	9,086	9,580	9,788	9,865	9,647	9,023	8,798
前期高齢人口 (65～74歳)	1,023	1,161	1,400	1,590	1,557	1,590	1,953	2,263
後期高齢人口 (75歳以上)	772	970	1,067	1,248	1,538	1,774	1,971	2,088
合計	13,576	14,098	14,755	15,227	15,400	15,284	15,138	15,521

出典：総務省「国勢調査（1985（昭和60）年～2020（令和2）年）」

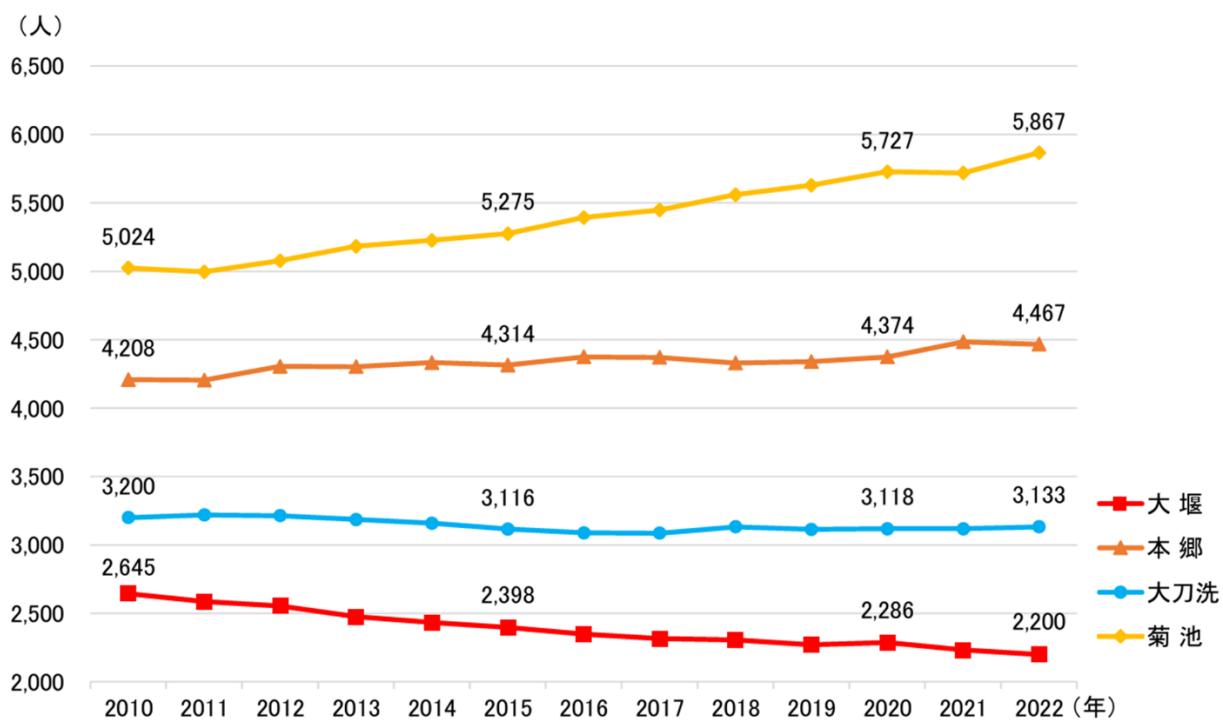
※合計には年齢不詳人口が含まれるため、区分別人口の合計とは一致しない。

資料：大刀洗町公共施設等総合管理計画

③ 校区別人口の推移

町内には4つの校区がありますが、校区によって人口にばらつきがみられ、本郷と菊池校区については増加傾向、大刀洗校区は横ばい、大堰校区は減少傾向にあります。

◆校区別人口の推移



(単位: 人)

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
大堰	2,645	2,586	2,554	2,476	2,434	2,398	2,348	2,316	2,306	2,271	2,286	2,232	2,200
本郷	4,208	4,204	4,306	4,303	4,333	4,314	4,374	4,370	4,330	4,340	4,374	4,485	4,467
大刀洗	3,200	3,220	3,214	3,186	3,159	3,116	3,089	3,086	3,133	3,114	3,118	3,118	3,133
菊池	5,024	4,996	5,077	5,182	5,226	5,275	5,393	5,448	5,559	5,629	5,727	5,719	5,867

出典: 住民基本台帳 ※施設入居者等を除いているため総人口の合計と一致しない。

資料: 大刀洗町公共施設等総合管理計画

（２）将来人口の推計

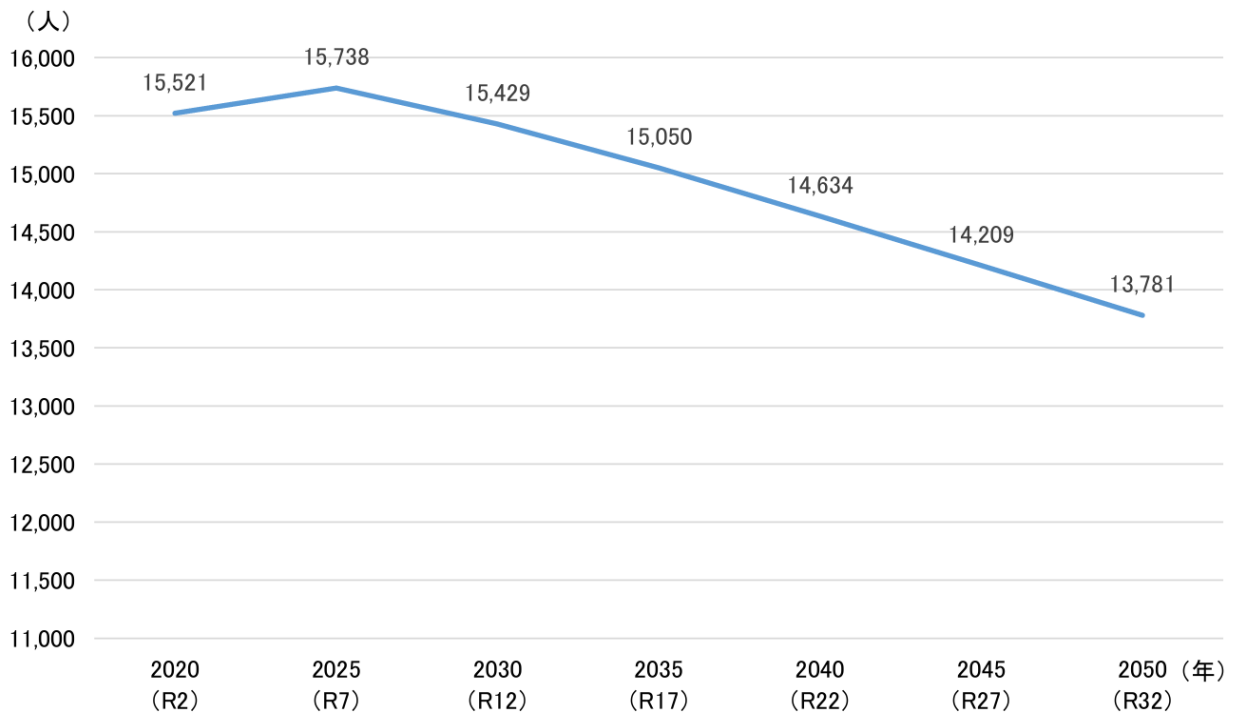
国立社会保障・人口問題研究所では、令和 2（2020）年と比較し令和 32（2050）年に約 1,700 人減の 13,781 人と推計しています。

高齢化率は令和 32（2050）年には 34.9%まで上昇することが見込まれています。

① 将来人口推計

国立社会保障・人口問題研究所では、令和 2（2020）年と比較し令和 32（2050）年に約 1,700 人減の 13,781 人と推計しています。

◆将来人口の推計の比較



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和 5 年推計）」

※2020（令和 2）年は総務省「国勢調査」の実績値を示しており、2025（令和 7）年以降が推計値となる。

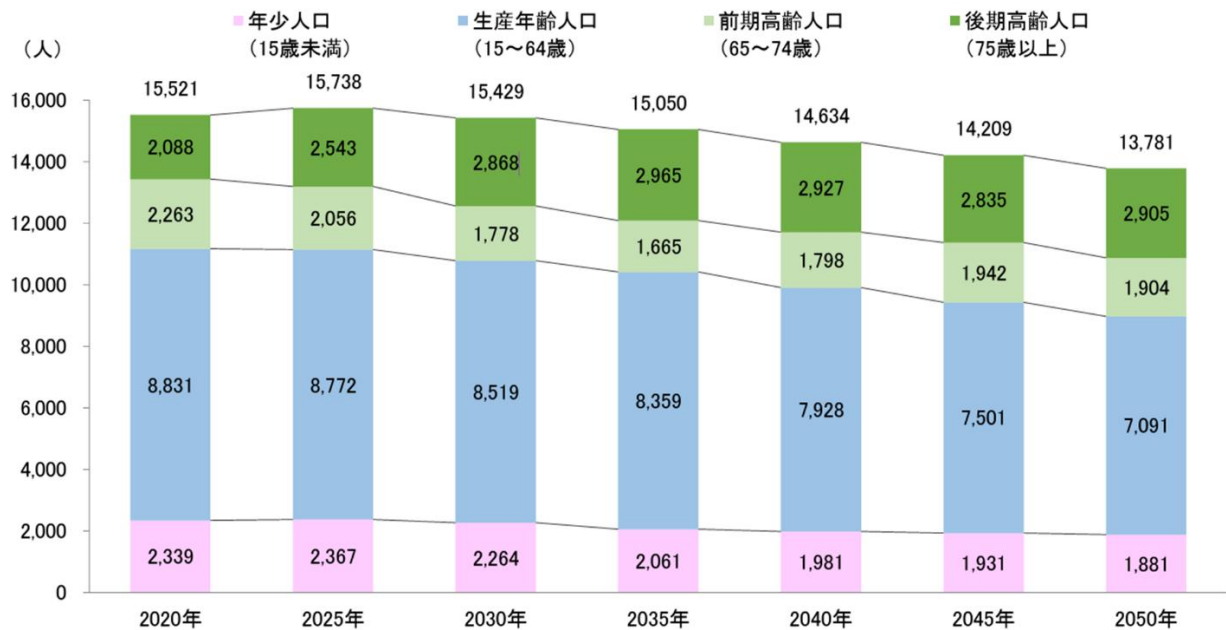
資料：大刀洗町公共施設等総合管理計画

② 年齢4区分別人口の推計

年少人口は令和 12（2030）年から減少傾向、生産年齢人口は一貫して減少が続く一方、老年人口は令和 32（2050）年まで増加が見込まれています。

高齢化率は令和 2（2020）年からの 30 年間で 6.8 ポイント拡大し、令和 32（2050）年には 34.9% まで上昇することが見込まれています。また、令和 32（2050）年には、生産年齢人口が総人口の半数となる見込みです。

◆年齢4区分別人口の将来推計（実数）



（単位：人）

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
年少人口 (15歳未満)	2,339	2,367	2,264	2,061	1,981	1,931	1,881
生産年齢人口 (15～64歳)	8,831	8,772	8,519	8,359	7,928	7,501	7,091
前期高齢人口 (65～74歳)	2,263	2,056	1,778	1,665	1,798	1,942	1,904
後期高齢人口 (75歳以上)	2,088	2,543	2,868	2,965	2,927	2,835	2,905
合計	15,521	15,738	15,429	15,050	14,634	14,209	13,781

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和 5 年推計）」

※2020（令和 2）年は総務省「国勢調査」の実績値を示しており、2025（令和 7）年以降が推計値となる。

資料：大刀洗町公共施設等総合管理計画

(3) 財政の概要

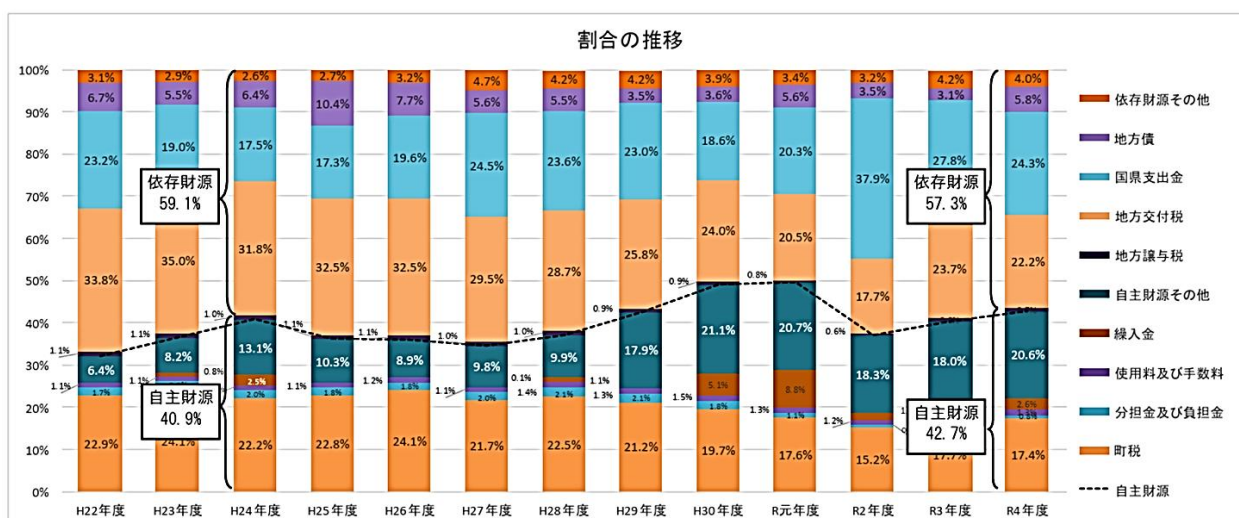
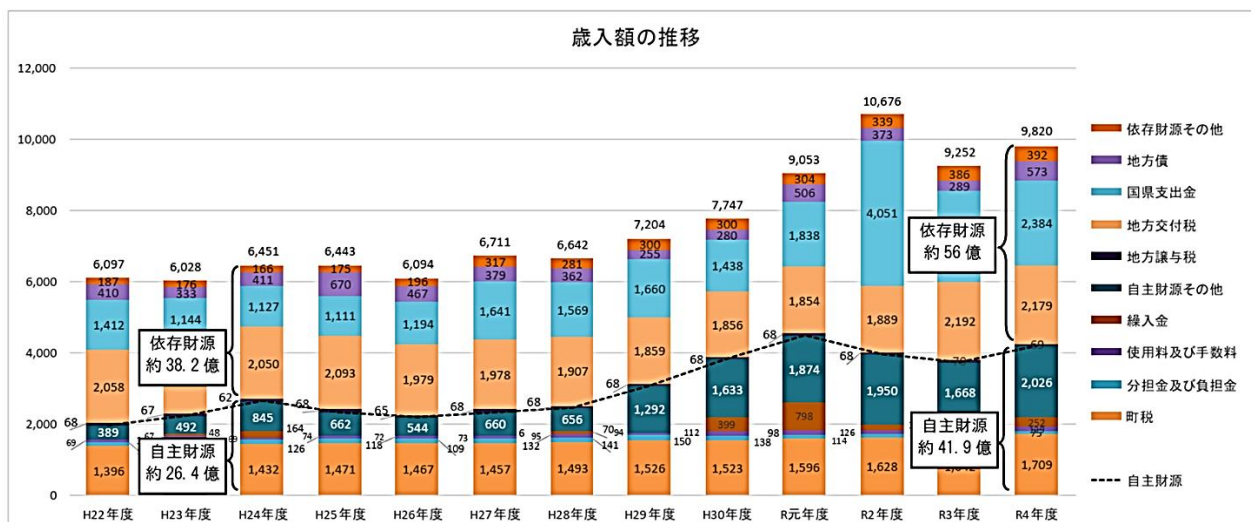
① 歳入の状況

普通会計における歳入額の推移をみると、令和4(2022)年度が約98億円となっており、平成24(2012)年度と比べて約34億円(52.2%)増加しています。

令和4(2022)年度と平成24(2012)年度の歳入額を比較すると、依存財源は「国県支出金」が、約12.6億円と大きく増加しているほか、「地方債」、「地方交付税」が約2.9億円増加しており、依存財源全体で約17.8億円増加しています。自主財源も約15.5億円と大幅に増加しており、そのうち「自主財源その他」が約11.8億円増加していますが、これはふるさと応援寄附金の増加によるものです。

令和4(2022)年度の歳入の割合は、「国県支出金」が最も多く24.3%、「地方交付税」が22.2%となっており、歳入の57.3%を依存財源(地方交付税、国県支出金、地方債など)が占めることから、依存財源が歳入を支えている状況にあるといえます。

◆歳入の推移【普通会計】(単位: 百万円)



資料: 大刀洗町地方財政状況調査表

※普通会計: 地方公共団体ごとに各会計の範囲は異なっており、財政比較や統一的な掌握が困難なため、地方財政統計上統一的に用いられる会計区分のこと。「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」では、一般会計等とも表現される。

資料: 大刀洗町公共施設等総合管理計画

② 歳出の状況

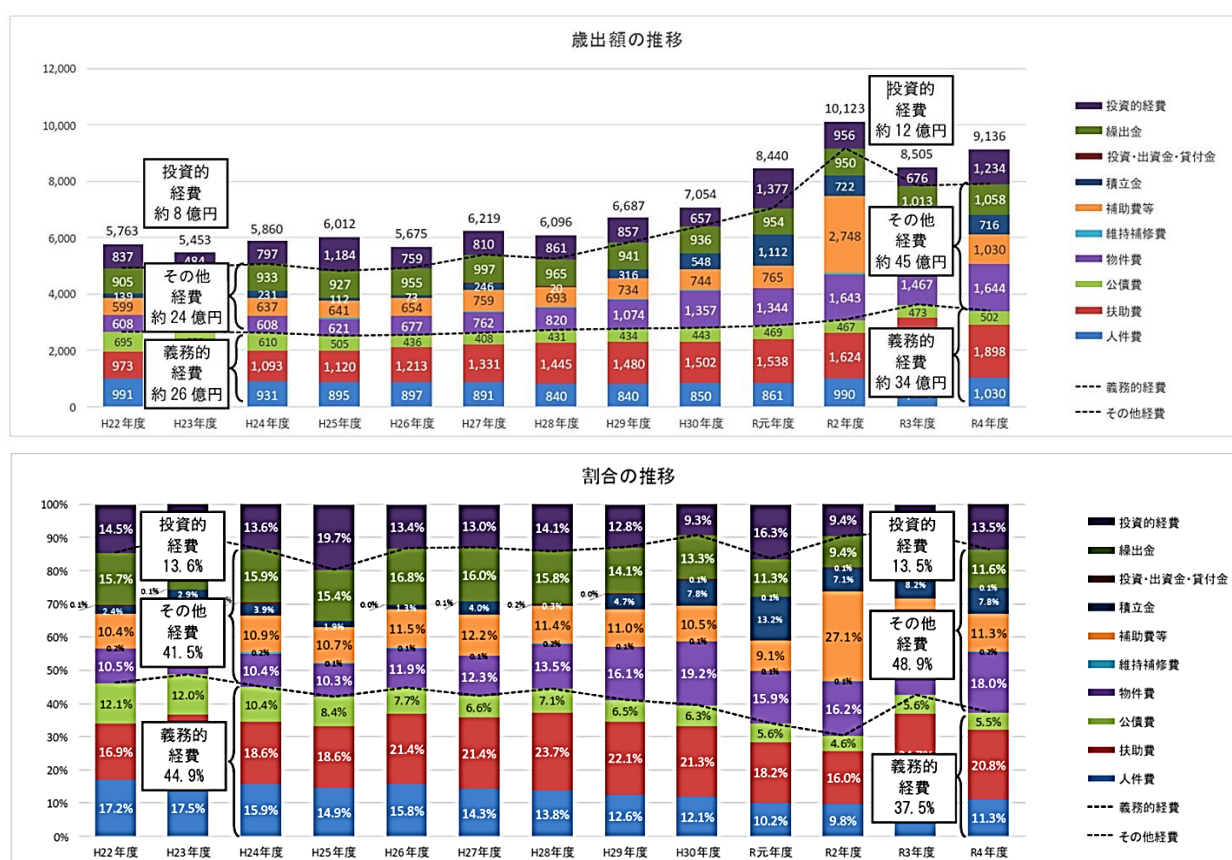
普通会計における歳出額の推移をみると、令和4（2022）年度が約91.4億円となっており、平成24（2012）年度と比べて約32.8億円（55.9%）増加しています。

令和4（2022）年度の歳出額の内訳は、義務的経費が約34億円で平成24（2012）年度と比べて約8億円増加しています。中でも扶助費が高齢者の増加等により増加傾向にあります。

その他の経費のうち、特に積立金や物件費が増加していますが、これはふるさと応援寄附金を原資とした積立金や事務委託費の増加によるものです。

今後は、義務的経費が高い水準で推移し、また歳入については減少が見込まれることから、財政の硬直化が進み、投資的経費の確保が一層困難となることを見込まれます。

◆歳出の推移【普通会計】（単位：百万円）



資料：大刀洗町地方財政状況調査表

※義務的経費：地方自治体の一般歳出のうち、支出することが制度的に義務付けられている経費であることから、削減することが難しい。人件費、扶助費及び公債費の3つからなる。

※投資的経費：道路、橋梁、公園、学校、公営住宅の建設等社会資本の整備等に要する経費であり、普通建設事業費、災害復旧事業費及び失業対策事業費から構成されている。

※扶助費：性質別歳出の一分類で、社会保障制度の一環として地方公共団体が各種法令に基づいて実施する給付や、地方公共団体が単独で行っている各種扶助に係る経費。なお、扶助費には、現金のみならず、物品の提供に要する経費も含まれる。

資料：大刀洗町公共施設等総合管理計画

2. 学校施設の運営状況・活用状況

(1) 保有教室の活用状況

本町の各学校施設の保有教室の種類・用途は、以下のとおりです。

なお、生徒数の増減により余裕教室となった教室については、少人数教室や相談室として活用しており、現時点では未活用余裕教室はない状況です。

◆学校施設ごとの生徒・学級数（令和6年5月1日時点）

No.	学校名	学校所在地	児童・生徒数（通常学級内訳）						児童・生徒数			学級数			設置年度	
			1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	通常学級	特別支援学級	計	通常学級	特別支援学級	計	元号	年
1	大刀洗小学校	大字上高橋755-1	25	19	28	16	19	27	134	28	162	6	4	10	M	25
2	菊池小学校	大字山隈1344-3	66	56	63	54	49	54	342	55	397	12	9	21	S	26
3	本郷小学校	大字本郷4669-1	45	47	46	39	49	42	268	35	303	12	6	18	M	25
4	大堰小学校	大字守部465	21	12	13	15	12	15	88	15	103	6	3	9	M	43
小計			157	134	150	124	129	138	832	133	965	36	22	58		
5	大刀洗中学校	大字本郷515	137	140	130	—	—	—	407	45	452	12	8	20	S	37
合計			294	274	280	124	129	138	1,239	178	1417	48	30	78		

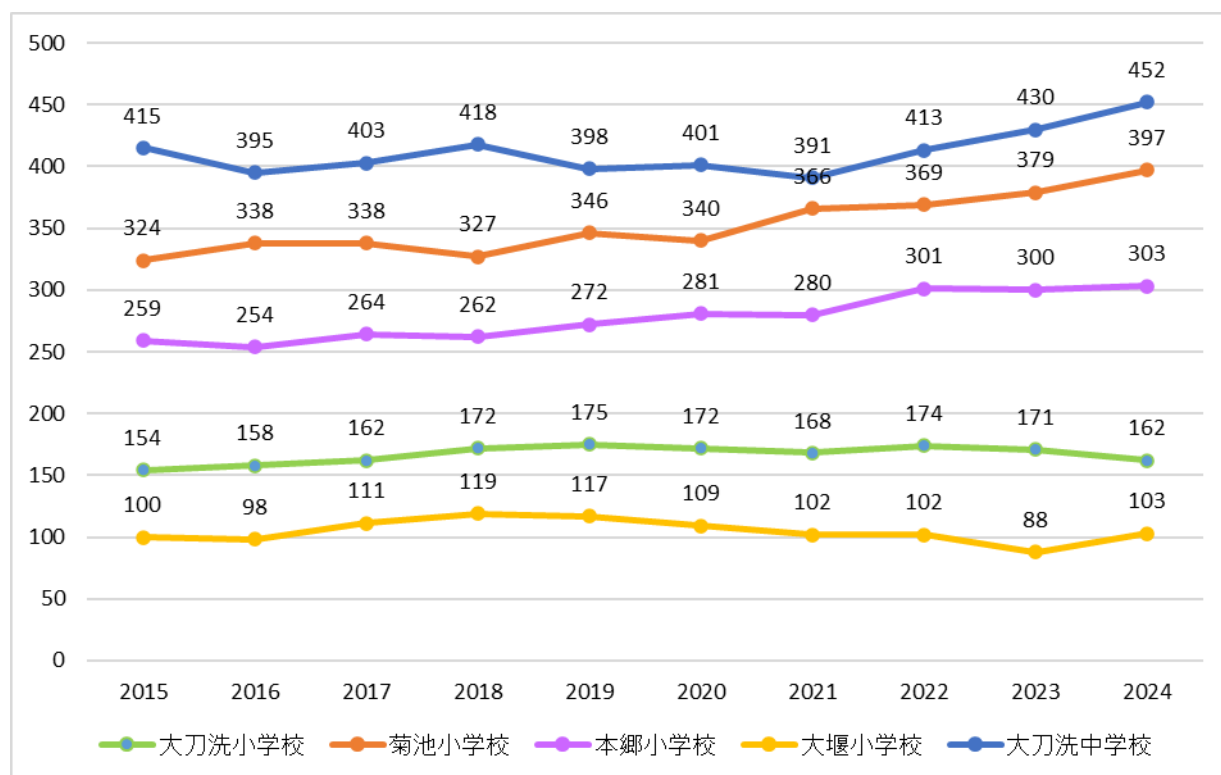
資料：令和6年度大刀洗町学校施設台帳

(2) 児童・生徒数の推移

学校別に児童・生徒数をみると、小学校では菊池小学校の児童数が最も多く、次いで本郷小学校の順になっています。

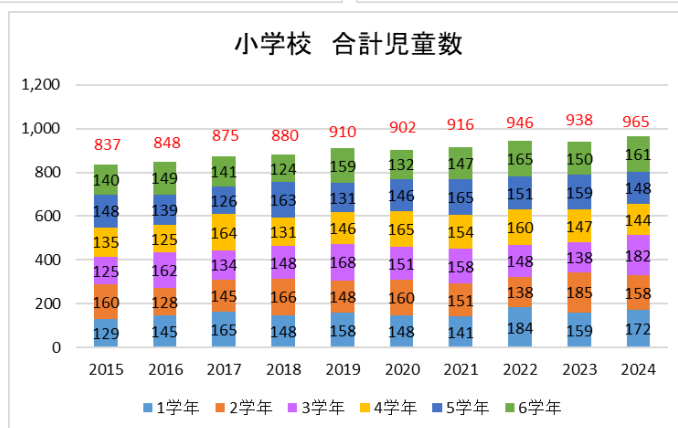
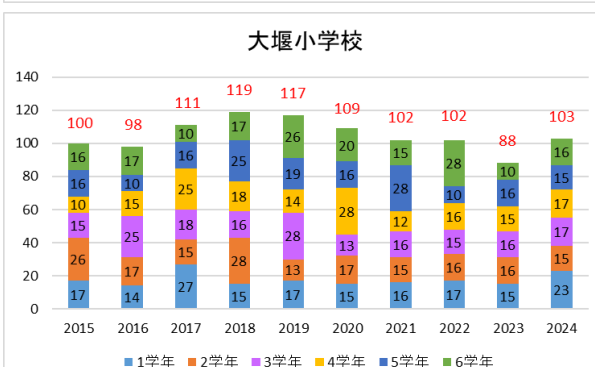
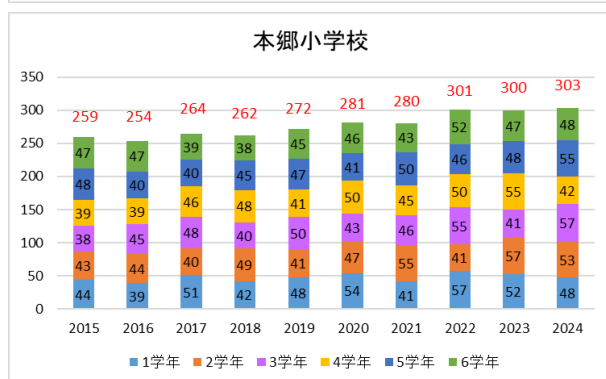
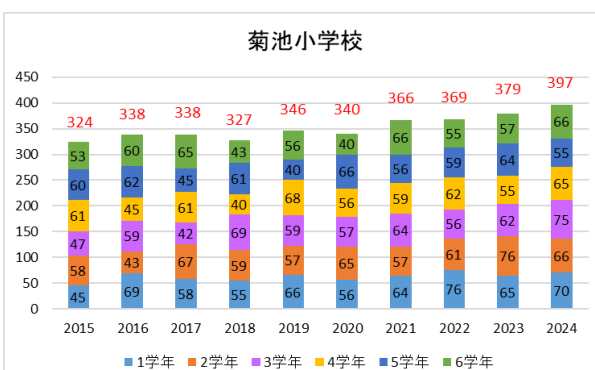
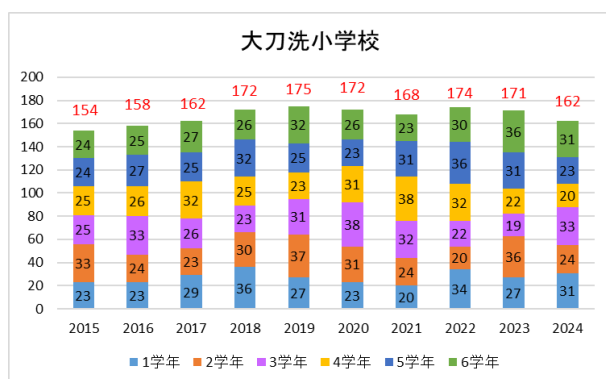
児童・生徒数の推移をみると、大刀洗小学校、大堰小学校は、横ばい傾向にありますが、本郷小学校と菊池小学校、大刀洗中学校については増加傾向にあります。

◆小中学校の児童・生徒数の推移

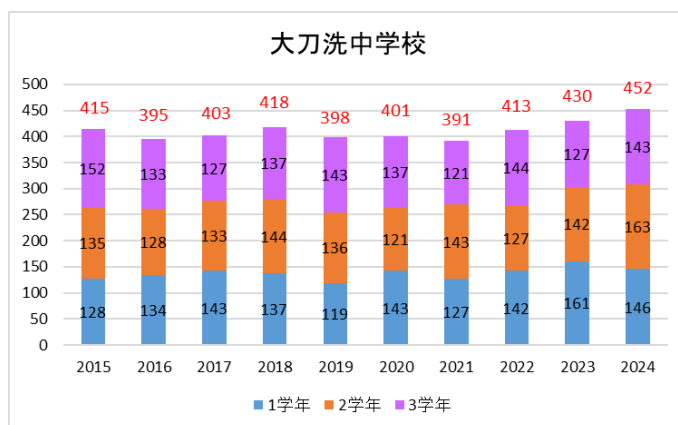


資料：学校施設台帳・庁内資料

◆小学校別の学年別児童・生徒数の推移



◆中学校の学年別児童・生徒数の推移



(3) 児童・生徒数の見通し

近年の児童・生徒数の推移から、本計画の目標年に近い2054年の児童・生徒数の将来推計を行った場合、児童数・生徒数は1,501人と試算され、これは、現在の約106%となります。

また、学級数について過去10年間の学級あたり児童・生徒数の平均から試算すると、目標年次に近い2054年の学級数は78学級と試算され、現在と変わらない学級数となっています。

(注：本見通しは文部科学省の手引き内容に沿った推計結果であり、他の推計結果における見通しとは異なることがあります)

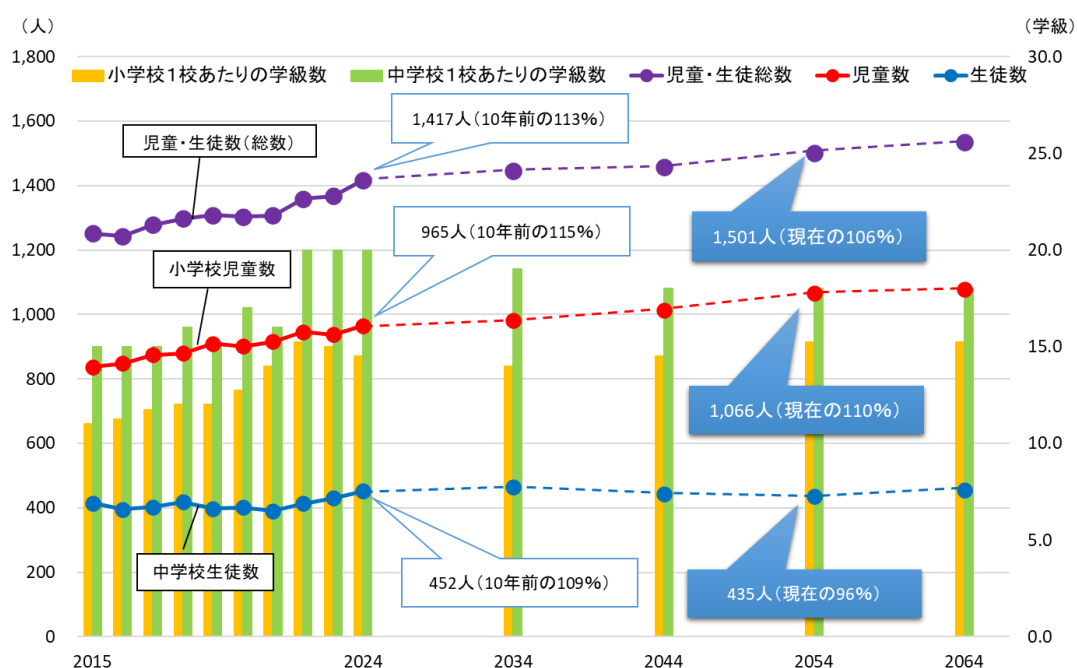
◆児童数・生徒数の推移と将来推計

	これまでの推移										将来推計			
	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	H31/R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	2034	2044	2054	2064
児童数	837	848	875	880	910	902	916	946	938	965	981	1,014	1,066	1,078
生徒数	415	395	403	418	398	401	391	413	430	452	464	443	435	456
合計	1,252	1,243	1,278	1,298	1,308	1,303	1,307	1,359	1,368	1,417	1,445	1,458	1,501	1,535

◆学級数の推移と将来推計

	これまでの推移										将来推計			
	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	H31/R1 2019	R2 2020	R3 2021	R4 2022	R5 2023	R6 2024	2034	2044	2054	2064
小学校	44	45	47	48	48	51	56	61	60	58	56	58	61	61
中学校	15	15	15	16	15	17	16	20	20	20	19	18	18	19
合計	59	60	62	64	63	68	72	81	80	78	75	76	78	80

◆児童数・生徒数・学校あたり学級数の推移と将来推計



※推計方法について

児童数・生徒数の将来推計方法（変化率法による推計）

児童数・生徒数の将来推計については、過去10年間の各学年の児童数、生徒数を基本母集団数として、次年度に昇級（例えば小学校1年生が小学校2年生に昇級、小学校6年生が中学校1年生に昇級）する際の変化率を求め、将来の各学年の児童数、生徒数を推計した。

その場合、過去10年間の各学年の変化率は、転入・転出による社会増減及び死亡による自然増減を加味していとと考えられることから、今後も一定であると仮定する。

小学校1年生の児童数は、5歳児数からの変化率から求め、5歳児数の将来推計については、人口ビジョンにおける合計特殊出生率の伸び率から推計した。

◆児童数・生徒数の変化率

		2015	2016	2017	2018		2019	2020		2021		2022		2023	2024						
		H27	H28	H27→H28	H29	H28→H29	H30	H29→H30	R1	H30→R1	R2	R1→R2	R3	R2→R3	R4	R3→R4	R5	R4→R5	R6	R5→R6	
	5歳	※住民課資料	143	165		154		166		156		145		179		158		173		177	
小学校	小1	5歳→小1	129	145	1.0140	165	1.0000	148	0.9610	158	0.9518	148	0.9487	141	0.9724	184	1.0279	159	1.0063	172	0.9942
	小2	小1→小2	160	128	0.9922	145	1.0000	166	1.0061	148	1.0000	160	1.0127	151	1.0203	138	0.9787	185	1.0054	158	0.9937
	小3	小2→小3	125	162	1.0125	134	1.0469	148	1.0207	168	1.0120	151	1.0203	158	0.9875	148	0.9801	138	1.0000	182	0.9838
	小4	小3→小4	135	125	1.0000	164	1.0123	131	0.9776	146	0.9865	165	0.9821	154	1.0199	160	1.0127	147	0.9932	144	1.0435
	小5	小4→小5	148	139	1.0296	126	1.0080	163	0.9939	131	1.0000	146	1.0000	165	1.0000	151	0.9805	159	0.9938	148	1.0068
	小6	小5→小6	140	149	1.0068	141	1.0144	124	0.9841	159	0.9755	132	1.0076	147	1.0068	165	1.0000	150	0.9934	161	1.0126
中学校	中1	小6→中1	128	134	0.9571	143	0.9597	137	0.9716	119	0.9597	143	0.8994	127	0.9621	142	0.9660	161	0.9758	146	0.9733
	中2	中1→中2	135	128	1.0000	133	0.9925	144	1.0070	136	0.9927	121	1.0168	143	1.0000	127	1.0000	142	1.0000	163	1.0124
	中3	中2→中3	152	133	0.9852	127	0.9922	137	1.0301	143	0.9931	137	1.0074	121	1.0000	144	1.0070	127	1.0000	143	1.0070

◆変化率を用いた将来推計

		2034		2044		2054		2064	
過去10年間		R16推計		R26推計		R36推計		R46推計	
変化率平均		5歳	182	196	196	196	※		
5歳→小1	0.98627	小1	175	180	193	193			
小1→小2	1.00101	小2	172	175	180	193			
小2→小3	1.00709	小3	159	173	176	181			
小3→小4	1.00309	小4	183	160	174	177			
小4→小5	1.00140	小5	144	183	160	174			
小5→小6	1.00013	小6	148	144	183	160			
		小学校	981	1,014	1,066	1,078			
小6→中1	0.95831	中1	154	142	138	175			
中1→中2	1.00238	中2	146	155	142	139			
中2→中3	1.00243	中3	163	147	155	143			
		中学校	464	443	435	456			

小中学校計 1,445 1,458 1,501 1,535
※5歳児の推計において出生率の伸び率を考慮。

◆学級数の推計

過去10年間の平均学級あたり児童数・生徒数

小学校	17.6
中学校	24.6

学級数の推計

	2034	2044	2054	2064
	推計	推計	推計	推計
小学校	56	58	61	61
中学校	19	18	18	19
合計	75	76	78	80

◆将来合計特殊出生率の伸び

(実績)2025年	1.65		5年平均
2040年	1.86	1.12727	中間年仮説
(目標)2050年	2.00	1.21212	伸び率
2055年	2.00	1.21212	中間年仮説
(目標)2060年	2.00	1.21212	伸び率

資料：大刀洗町人口ビジョン

※2040年、2055年は公開値、2030年、2050年は仮定値

【参考】国立社会保障・人口問題研究所における人口推計

社人研推計

	2020	2045	2050
	実績	推計	推計
年少人口	2,339	1,931	1,881
比率(対2020)		0.8256	0.8042

児童数・生徒数の推計

	2020	2045	2050
	実績	推計	推計
小学校	916	756	737
中学校	391	323	314
小中学校計	1,307	1,079	1,051

（４）学校施設配置状況

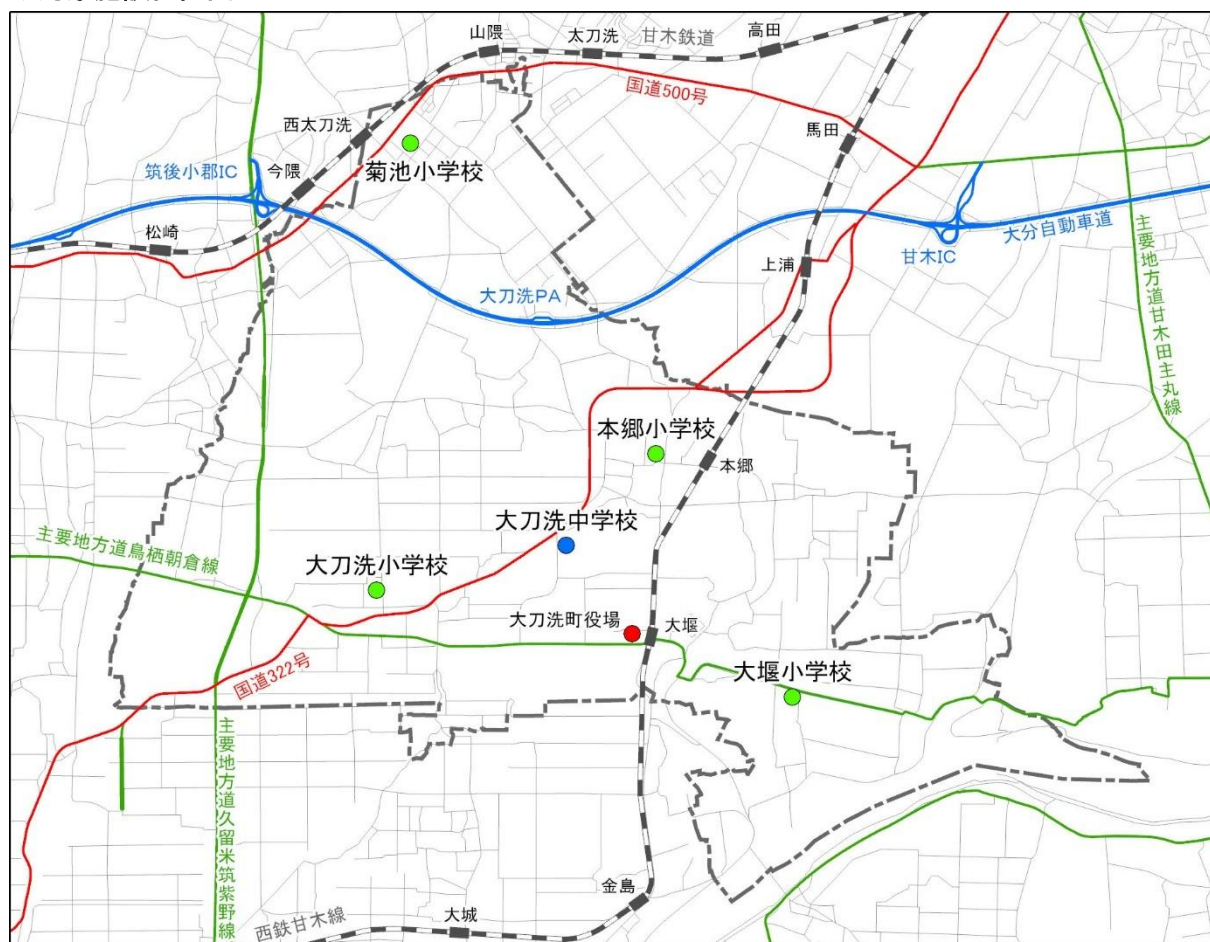
① 学校施設位置

長寿命化計画の対象施設は、町中央部の国道 322 号付近に大刀洗中学校が配置され、国道 322 号沿道付近には、大刀洗小学校、本郷小学校が配置されています。

また、町の北部を走る国道 500 号周辺に菊池小学校、南部の主要地方道鳥栖朝倉線沿いには大堰小学校が配置されています。

鉄道駅との立地関係をみると、本郷小学校は、西鉄甘木線の本郷駅に近接し、菊池小学校は、甘木鉄道の西太刀洗駅に近接した位置にあります。

◆対象施設位置図



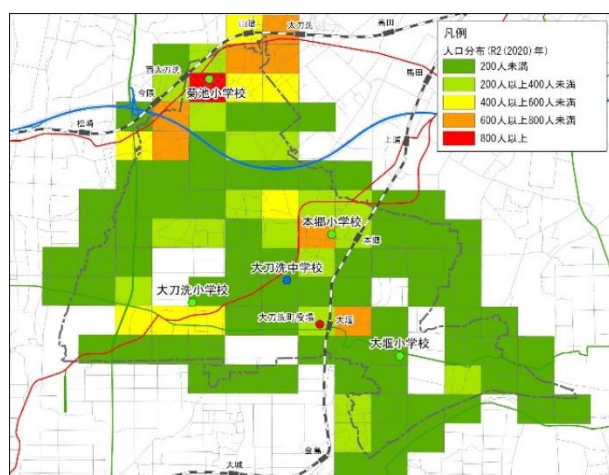
資料：国土数値情報ほか

② 学校施設の配置と人口分布及び見通し

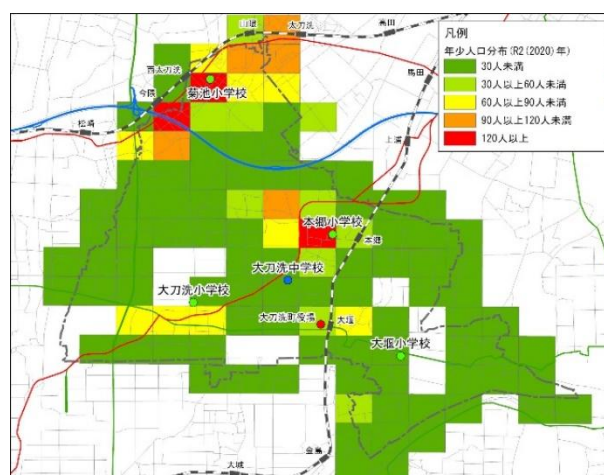
令和2（2020）年の「人口総数の分布図」と対象施設の配置の関係をみると、菊池小学校周辺に最も人口が集中しています。

令和2（2020）年の「年少人口の分布図」と対象施設の配置の関係をみると、菊池小学校周辺や本郷小学校周辺に人口が集中しています。

◆人口総数の分布（2020 年）



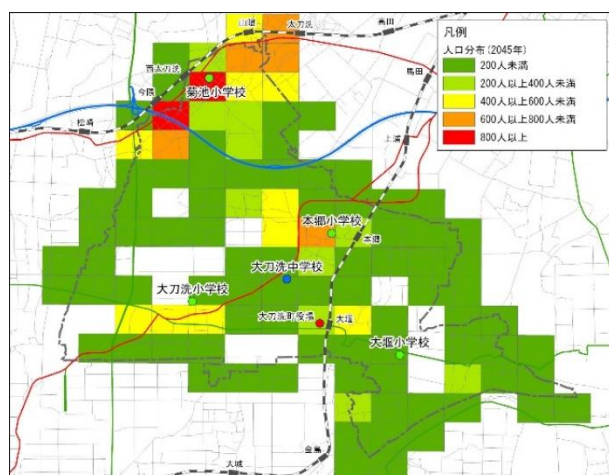
◆年少人口の分布（2020 年）



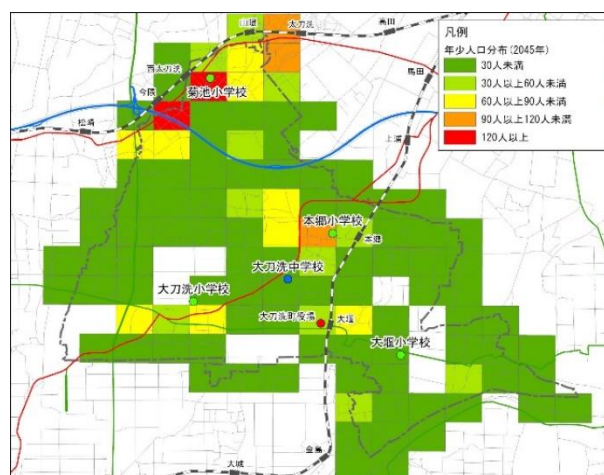
資料：総務省統計 GIS

令和2年の国勢調査を基本に推計した人口に基づく将来（2045年）推計人口の分布をみると、全体的な人口減少はみられるものの、菊池小学校周辺の人口、年少人口は、他の地域に比べ人口の集約がみられます。

◆推計人口総数の分布（2045 年）



◆推計年少人口の分布（2045 年）



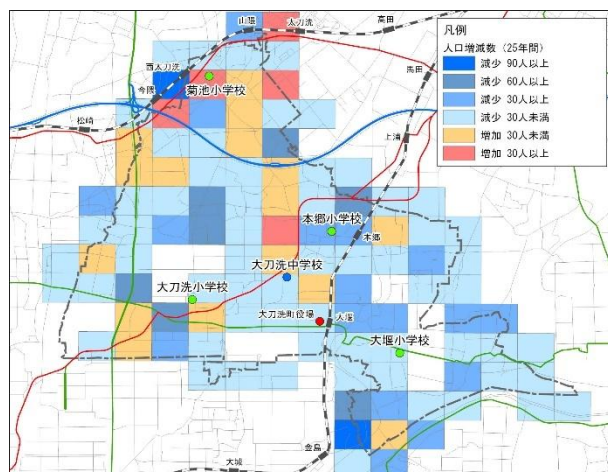
資料：国土数値情報ほか

次に、前述の令和2（2020）年の人口分布と将来（2045年）推計人口の分布から整理した人口増減数を示します。

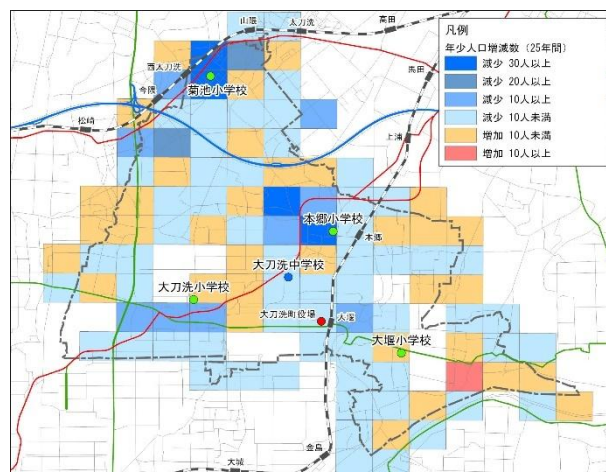
菊池小学校周辺では人口の増加がみられる一方で、隣接する区域では大きく人口が減少する箇所もみられます。

また、菊池小学校や本郷小学校など、周辺地域で総人口が増加するにもかかわらず、年少人口は減少すると推計されているのに対し、大刀洗小学校や大堰小学校など総人口が減少する地域においては、年少人口が増加すると推計されています。

◆推計人口増減数（2020年⇒2045年）

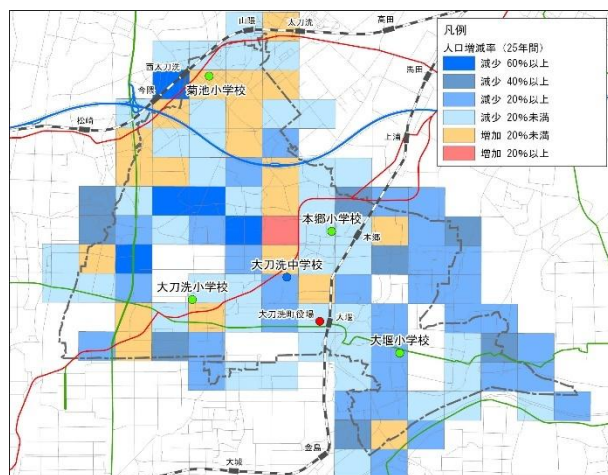


◆推計年少人口増減数（2020年⇒2045年）

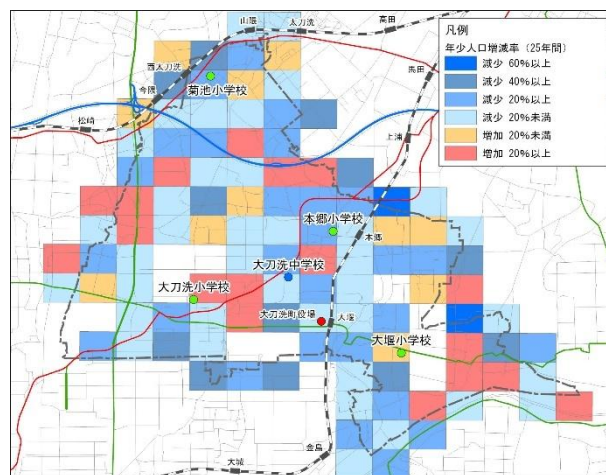


資料：総務省統計GIS・国土数値情報

◆推計人口増減率（2015年⇒2045年）



◆推計年少人口増減率（2020年⇒2045年）



資料：総務省統計GIS・国土数値情報

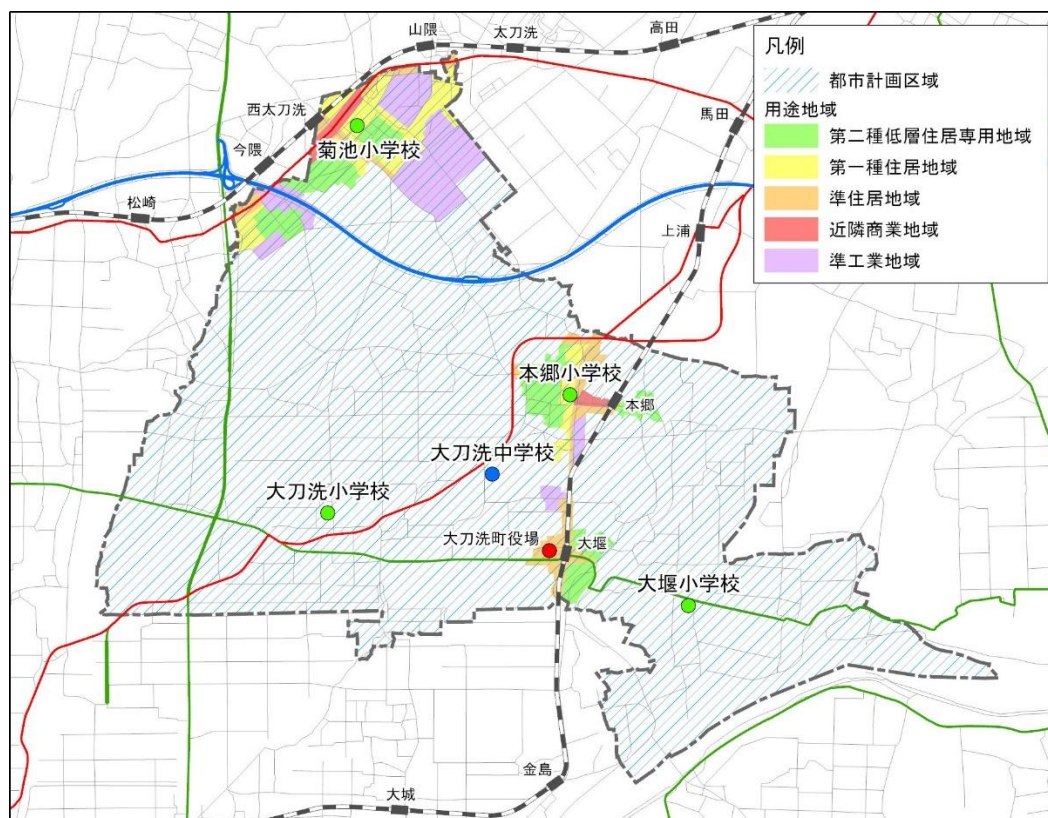
③ 学校施設の配置と都市計画

都市計画法による指定区域と対象施設の配置の関係をみると、町域全体が都市計画区域に指定されている中、菊池小学校、本郷小学校は、用途地域指定区域内に配置されています。

いずれも第一種住居地域に指定された区域に位置し、周辺には低層住居専用地域が指定されるなど、良好な住環境の中に立地していることがうかがえます。

大刀洗小学校、大堰小学校、大刀洗中学校は、用途地域指定のない都市計画区域に位置し、田園環境に囲まれていることから、他地域に比べると各種利便性が低いと考えられます。

◆都市計画区域・用途地域



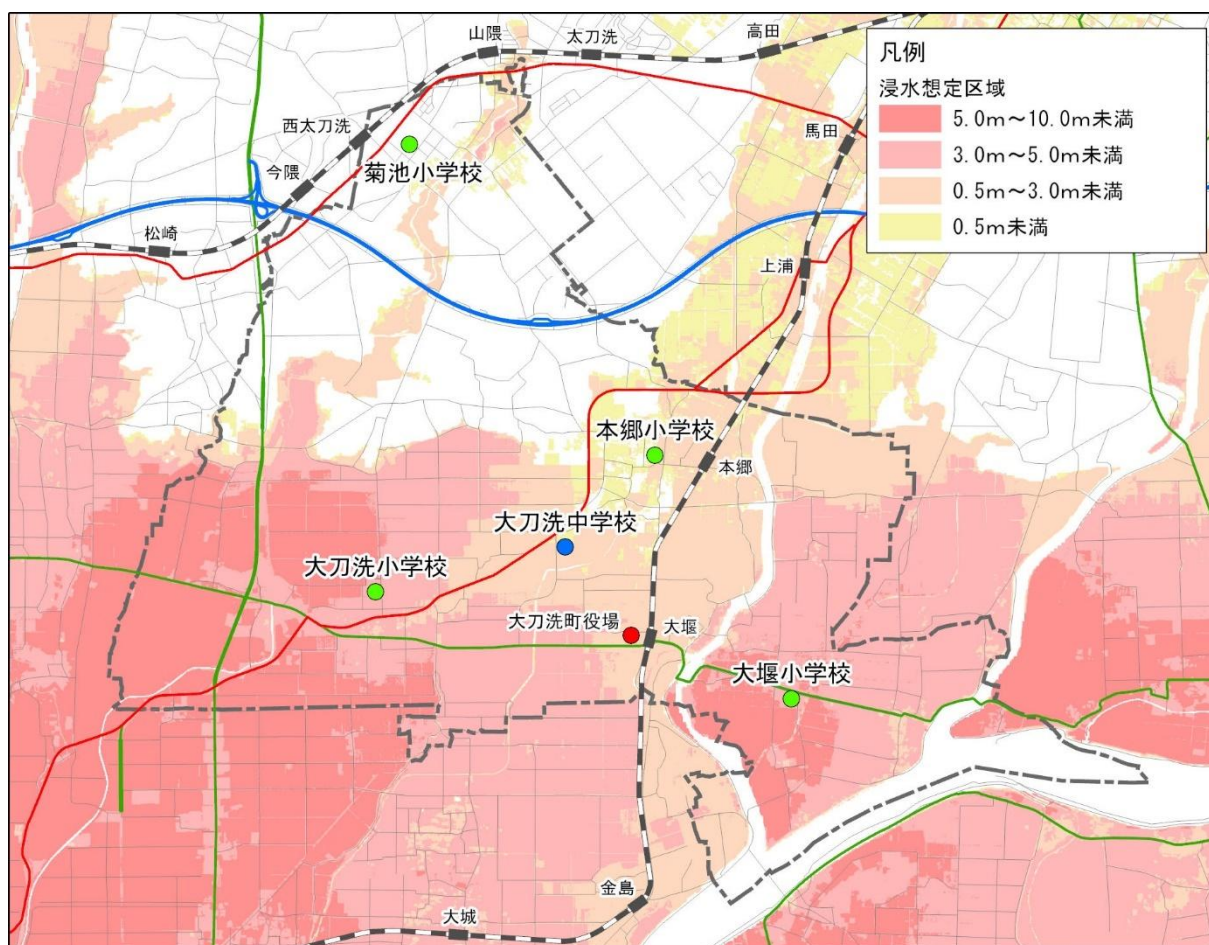
資料：国土数値情報ほか

④ 学校施設の配置と災害リスク

河川氾濫による浸水想定区域（想定最大規模）と対象施設の配置の関係をみると、菊池小学校を除くすべての学校施設が浸水想定区域内に位置しており、大刀洗中学校、本郷小学校周辺は浸水深0.5m～3.0m、0.5m未満に位置付けられています。

また、特に大刀洗小学校、大堰小学校は浸水深 3.0m～5.0m に位置し、浸水深 5.0m～10.0m のエリアも近接しています。

◆浸水想定区域（想定最大規模）



資料：国土数値情報ほか

（５）学校施設毎の全体コスト

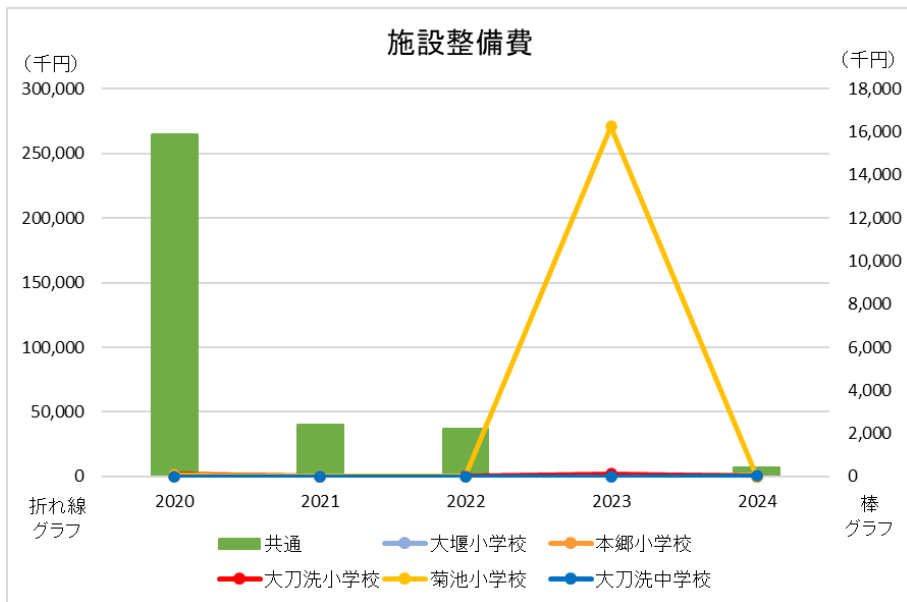
学校施設に係るコストの状況として、令和２（2020）年度から５年間の施設整備費、委託費、光熱水費、維持修繕費の推移と５年間の平均コストを以下に示します。

令和５（2023）年に施設整備費が大きくなっているのは、菊池小学校増築工事費が影響しています。

◆直近５年間の学校施設毎のコスト表・グラフ

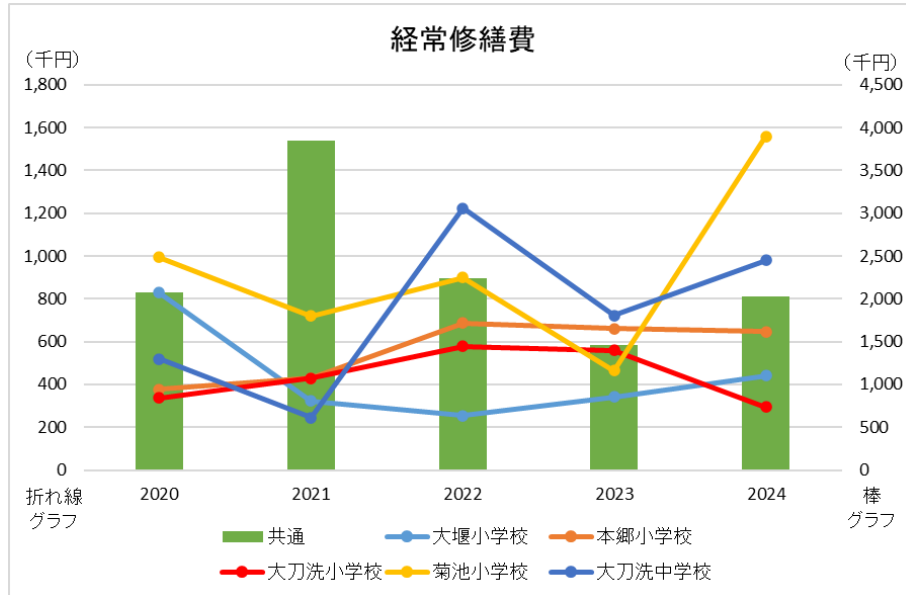
単位：千円

施設整備費	R2	R3	R4	R5	R6
	2020	2021	2022	2023	2024
大堰小学校	0	0	473	0	133
本郷小学校	0	0	0	820	990
大刀洗小学校	1,529	143	568	1,903	0
菊池小学校	1,254	0	0	270,655	0
大刀洗中学校	0	0	0	0	440
共通	15,906	2,398	2,209	0	413
合計	18,689	2,541	3,251	273,378	1,975



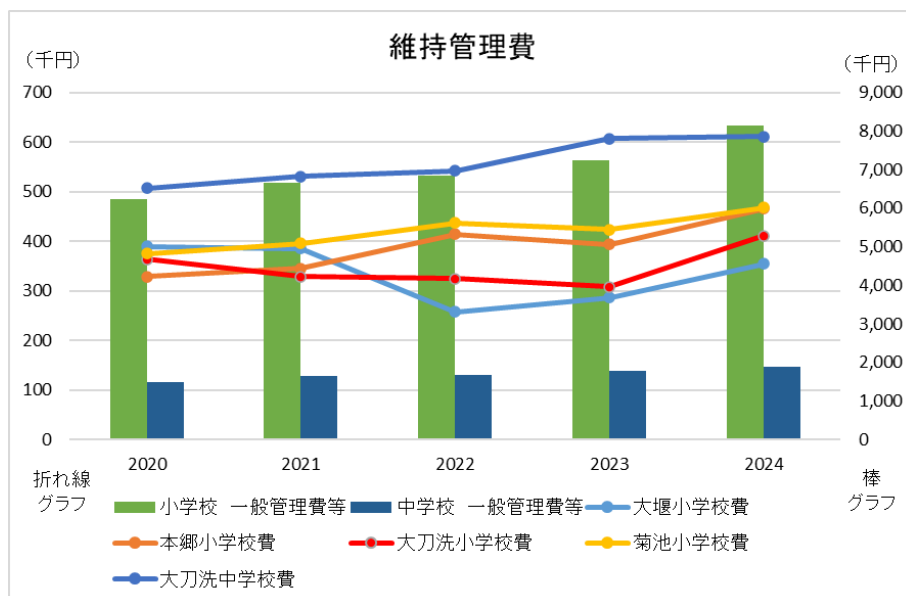
単位：千円

経常修繕費	R2	R3	R4	R5	R6
	2020	2021	2022	2023	2024
大堰小学校	829	323	255	341	440
本郷小学校	377	429	686	662	647
大刀洗小学校	337	429	578	560	294
菊池小学校	994	720	899	465	1,560
大刀洗中学校	519	245	1,224	722	981
共通	2,076	3,848	2,237	1,461	2,022
合計	5,132	5,995	5,878	4,212	5,945



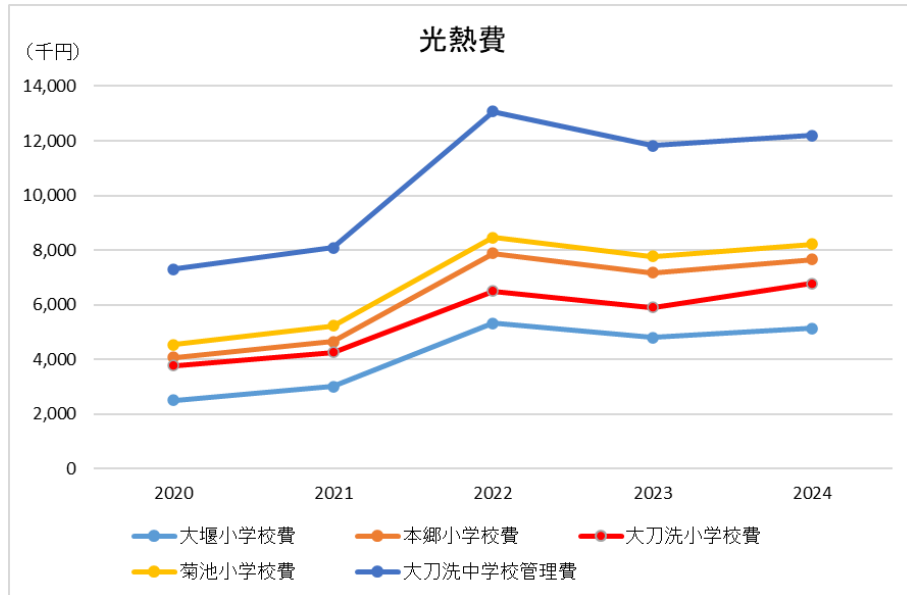
単位：千円

維持管理費	R2	R3	R4	R5	R6
	2020	2021	2022	2023	2024
大堰小学校	389	385	258	287	355
本郷小学校	329	345	415	394	466
大刀洗小学校	364	329	325	308	411
菊池小学校	376	396	437	423	468
大刀洗中学校	507	530	542	607	611
小学校 一般管理費等	6,225	6,655	6,843	7,247	8,142
中学校 一般管理費等	1,493	1,658	1,692	1,782	1,902
合計	9,682	10,299	10,513	11,048	12,356



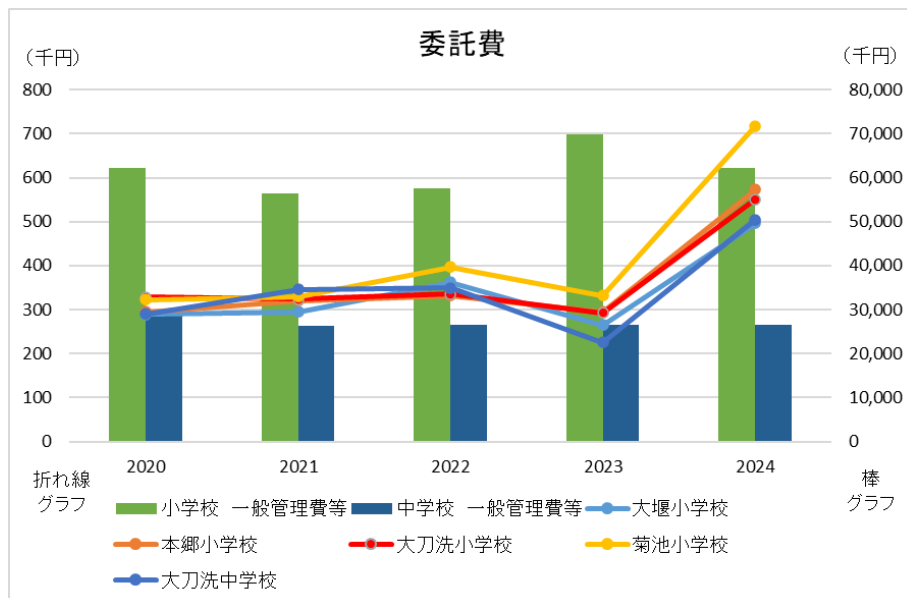
単位：千円

光熱費	R2	R3	R4	R5	R6
	2020	2021	2022	2023	2024
大堰小学校	2,508	3,009	5,317	4,799	5,141
本郷小学校	4,084	4,656	7,874	7,166	7,653
大刀洗小学校	3,783	4,271	6,498	5,913	6,777
菊池小学校	4,536	5,241	8,464	7,775	8,225
大刀洗中学校	7,313	8,090	13,065	11,819	12,196
合計	22,225	25,268	41,218	37,472	39,991



単位：千円

委託費	R2	R3	R4	R5	R6
	2020	2021	2022	2023	2024
大堰小学校	289	295	362	265	497
本郷小学校	295	321	332	295	573
大刀洗小学校	328	324	336	293	551
菊池小学校	323	330	397	332	718
大刀洗中学校	290	346	350	225	504
小学校 一般管理費等	62,263	56,465	57,568	69,969	62,226
中学校 一般管理費等	29,773	26,323	26,662	26,451	26,567
合計	93,562	84,404	86,006	97,830	91,638



(6) 学校施設全体のコスト

全体コストの状況を見ると、5年間全体コストは100,506千円、平均コストは200,101千円となっています。

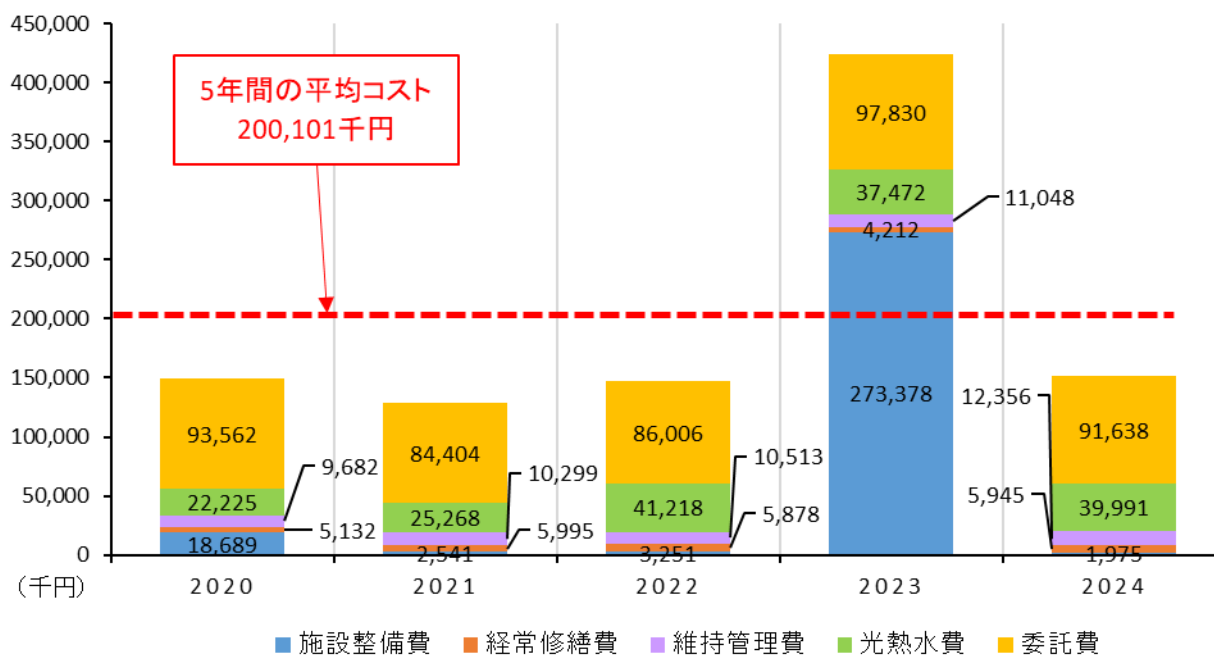
◆直近5年間の学校施設の全体コスト表

単位：千円

学校施設全体	R2	R3	R4	R5	R6	合計	平均
	2020	2021	2022	2023	2024		
施設整備費	18,689	2,541	3,251	273,378	1,975	299,834	59,967
経常修繕費	5,132	5,995	5,878	4,212	5,945	27,162	5,432
維持管理費	9,682	10,299	10,513	11,048	12,356	53,898	10,780
光熱水費	22,225	25,268	41,218	37,472	39,991	166,173	33,235
委託費	93,562	84,404	86,006	97,830	91,638	453,439	90,688
全体計						1,000,506	200,101

資料：大刀洗町教育委員会調べ

◆直近5年間の学校施設の全体コストグラフ

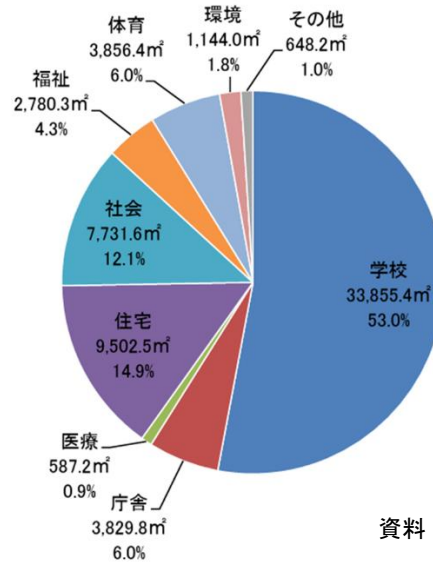


資料：大刀洗町教育委員会調べ

（７）対象施設の保有量

本町の１人当たりの公共施設延床面積は 4.0 ㎡／人で、九州の類似都市や福岡県の平均よりも低くなっています。学校施設の割合が高く、他都市と比べ住宅の割合が低くなっています。

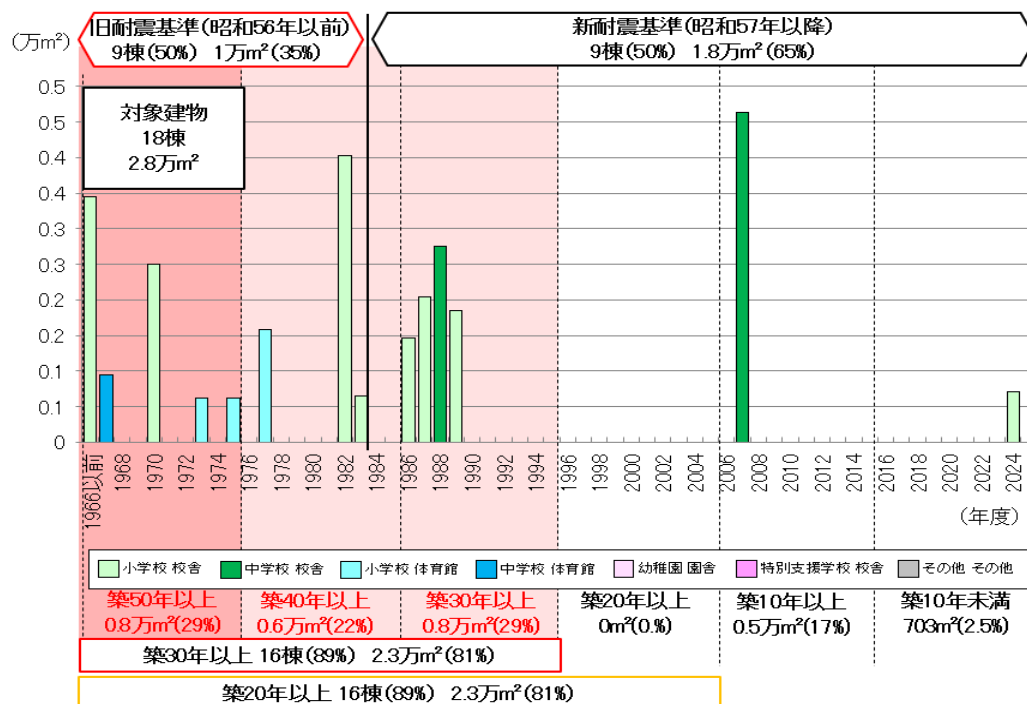
◆大分類別の延床面積の割合



資料：大刀洗町公共施設等総合管理計画

本計画の対象施設（18 棟）は、昭和 38（1963）年に建築された大刀洗小学校や大堰小学校の校舎など、築 50 年以上経過した建物が全延床面積の 29%あり、築 30 年以上経過した建物は、全延床面積の 81%あります。また、旧耐震基準の建物は、全延床面積の 35%あります。

◆対象施設の築年別整備状況



作図：文部科学省提供ソフト

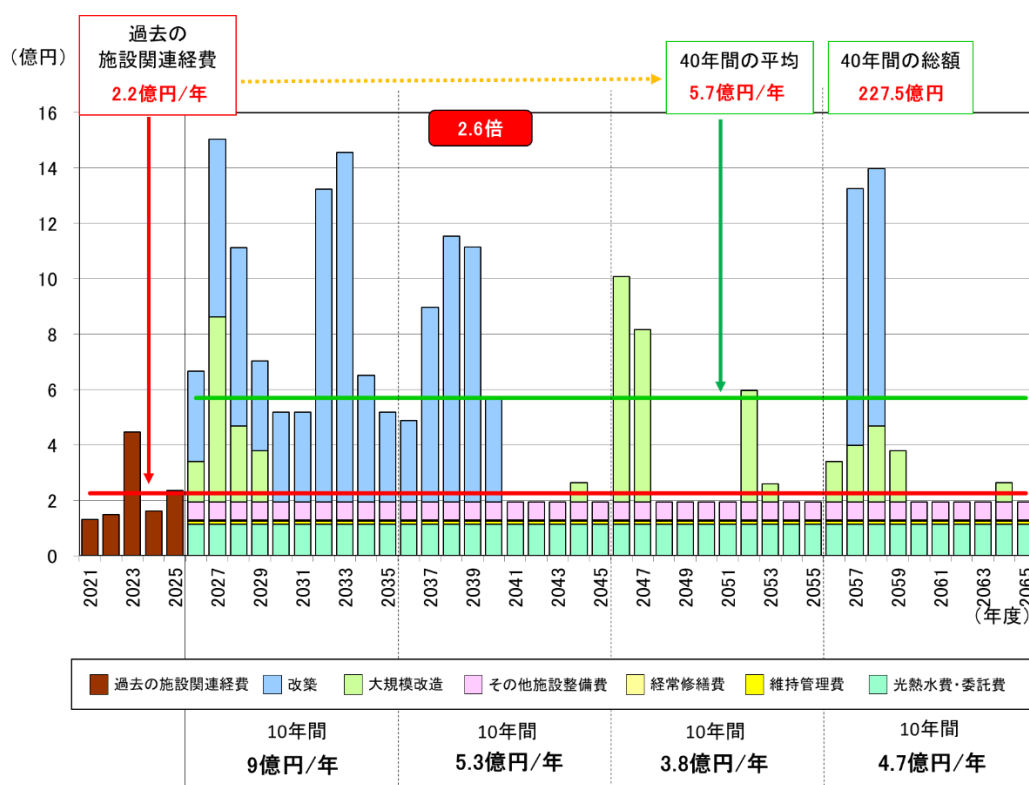
（８）今後の維持・更新コストの把握

文部科学省提供の試算ソフトにより、更新周期を 50 年で従来の従来型の整備方法を前提とした場合の試算期間 40 年間の維持・更新コストは、以下のグラフの通りとなります。

なお、現状ではＲＣ造の改築までの年数は、物理的に概ね 40 年程度とされています。法定耐用年数では 47 年となっていますが、これは減価償却資産の耐用年数（財務省）に基づいており、現実的ではないものとされています。

試算の結果、40 年間で総額 227.5 億円、年平均 5.7 億円が必要となります。令和 8（2026）年からの 10 年間は改築時期に入るため、年平均 9.0 億円のコストを必要とすることとなります。これらのことから、従来の改築中心の整備を継続することは財政的にも不可能であるため、対応策を検討する必要があります。

◆今後の維持・更新コスト（従来型）



作図：文部科学省提供ソフト

◆コスト試算条件（従来型）

基準年度	2025年	試算期間: 基準年の翌年度から40年間
改築		
更新周期	50 年	工事期間 2 年
改築単価	400,000 円/㎡	実施年数より古い建物の改修を 10 年以内に実施
大規模改造		
実施年数	20 年周期	工事期間 1 年

(9) 学校施設の活用状況

本町が保有する学校施設は、教育時間内の授業等のほか、様々な活用が図られています。

1. 学校施設の開放

本町が保有するすべての小学校及び中学校の屋外運動場及び屋内運動場は、「大刀洗町立小中学校の施設の開放に関する条例」に基づき、教育委員会の許可を受けた上で利用できることとなっています。

学校教育に支障のない範囲で、生涯学習、文化及びスポーツなどの地域のかつとして、住民の方に利用されています。

2. 災害・緊急時の避難場所としての活用

本町の地域防災計画において、すべての小学校及び中学校は、指定避難所に指定されています。

これらの施設は、災害により住居を喪失した住民を収容する施設として利用されます。

3. 「学童保育（放課後児童クラブ）」での活用

本町では「放課後児童健全育成事業」の一環として、町内の小学校区にそれぞれ学童保育所を設置しています。なお、本郷学童保育所及び大堰学童保育所を学校施設内に設置しています。

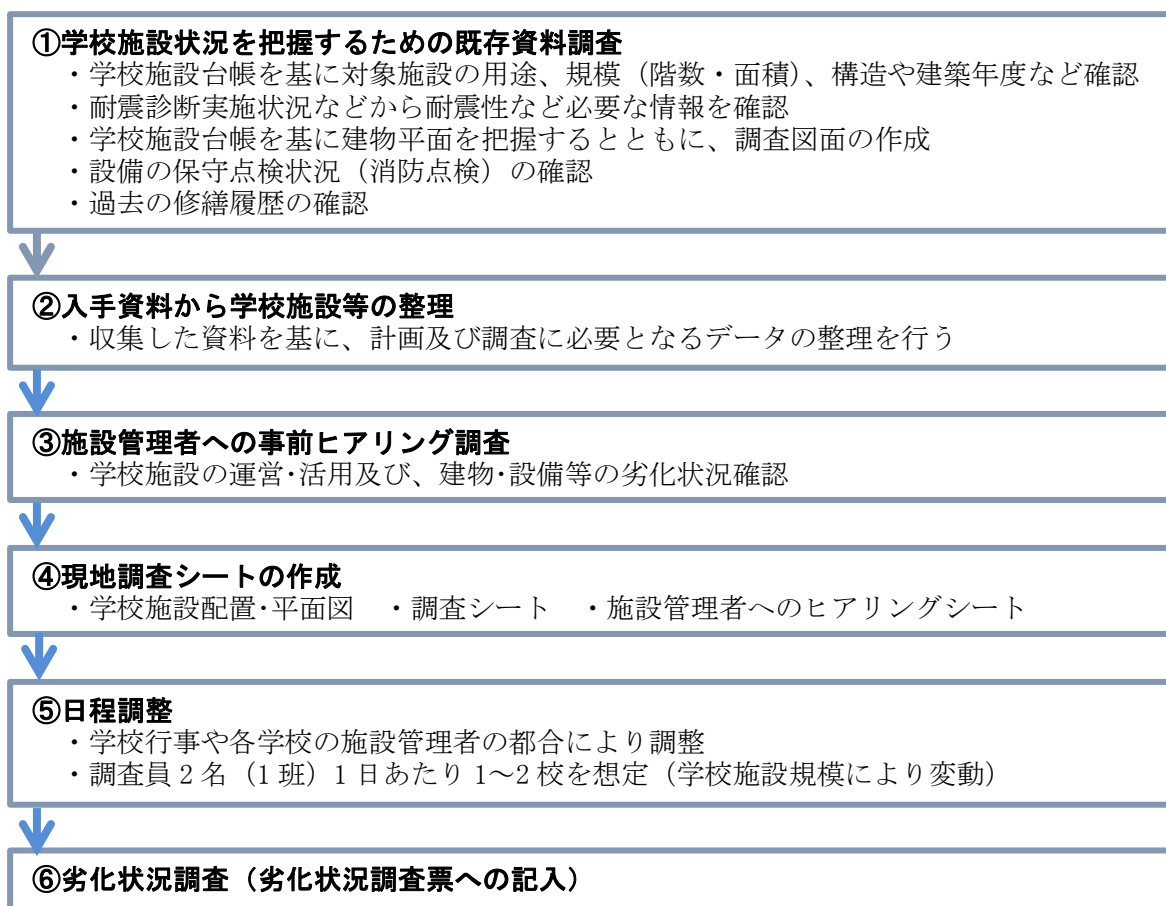
学童保育所では、保護者の就労等で放課後「保育が必要な子ども」を対象に、授業終了から午後6時（午後7時まで延長あり）までの間、児童の保育を行います。

夏休みや、冬休みの長期休暇の際は、午前8時から午後6時（午後7時まで延長あり）まで保育を行います。

3. 学校施設等の老朽化状況

(1) 劣化状況調査に向けた準備

長寿命化計画の対象建物（5 施設 18 棟）については、施設点検調査に着手する前に各施設の既存資料の収集と各施設管理者へのヒアリング調査を行い、事前に施設内容及び状況を整理・把握したうえで劣化状況調査を実施しました。以下に劣化状況調査に向けた作業フローを示します。



(2) 事前ヒアリング

事前ヒアリング調査は、老朽化状況調査の効率的な調査の実施及び現地調査では確認できない状況等についての情報確認のため、施設の管理担当者等により事前確認シートへ記入する形で実施しました。以下に、調査概要と施設別調査結果を示します。

◆施設別ヒアリング結果

問. 各部位で気付いた点

例)		大刀洗小学校	菊池小学校	本郷小学校	大塚小学校	大刀洗中学校
屋根	大雨時に事務室で雨漏りがある		・大雨（短時間にザーザー降り）が降った場合、体育館東側の屋根の一部分から落ちる水が、滝のようになって落ちてくる。下に駐車している調理員の車が損傷しないか心配になる程度には、強い水が落ちている。	・大雨時に給食室で雨漏りすることがある。 ・体育館南側で雨漏りがある。	大雨が降ると、南校舎2階少人数教室で、頻りに天井から雨漏りがある。 1階中央廊下の天井にも、一度修理をしてもらったが雨漏りの跡ができています。（今の所天井から漏れてくるまではない。）	
外壁	ひび割れが複数箇所にある、タイルが剥がれ落ちている箇所がある	・プールの中のひび割れ、プールサイドコンクリートの剥がれ。 ・南校舎東グランド側の外壁がはがれている（コーンとバーで立入禁止にしている）。	・体育館西側の外壁がはがれている（コーンとバーで立入禁止にしている）。 ・南校舎東グランド側の外壁がはがれている（コーンとバーで立入禁止にしている）。	・調理室の入り口の庇の塗装（またはモルタル）に大きな亀裂が入っている。	・暴風雨時は必ず、大雨時でも、北校舎西階段踊り場の外壁から内側に雨水が染み出し、床に水たまりができる。ひどい時は、屋上に向かう階段の壁側からも雨水が染み出し、階段に垂れてくる。 ・体育館の憩いの園側中央付近の壁面から雨水が染み出し、床に水たまりができることがある。 ・南校舎屋根のひさし部分の塗装や体育館の外壁の塗装が劣化して浮き上がり、数か所が落ちてきていたので応急処置で削ってもらった。その後広がりがないか、また他にも浮き上がりやヒビが見えるので気を付けておく必要がある。 ・北校舎職員入口の道路側の扉上のひさしの鉄の部分が錆びて剥がれ落ちてきている。	・北校舎（北側・南側・西側）外壁に剥がれ落ちている箇所がある。
外部建具	通用口のドアが開閉しづらい	・正門（東側）が台風等風の強い日に道路側に倒れる。 ・柏床場の基礎が出ていて危険。	・給食室の調理員入口のドアが開閉しづらい。	・東西の非常階段の錆がひどい。西側非常階段の踊り場裏側の塗装（またはモルタル）に大きな亀裂が入っている。	・南校舎教室全館の出入口扉や窓が棧から外れそうになっているところが多くある。応急処置で接ぎ木をしてもらっているが、それでも不安な箇所がある。 ・南校舎2階3～1教室の後方扉が開閉しづらい。 ・正面玄関の扉のかみ合わせが悪い。	・プール入り口のシャッターの開閉が困難である。
内部 (床・壁・天井)	事務室で雨漏り、廊下の壁クロスが剥がれている	・給食室の床の塗装のはがれ。 ・シロアリによる腐食（南校舎全体）。 ・職員室前廊下の壁の剥がれ。 ・屋上の壁の剥がれ・保健室付近の壁のひび割れ、雨漏り。 ・雨の日の事務室の床のきしみ・カビ臭さ。	・南校舎1階西側の天井に雨漏りの跡がある。 ・教室の扉が開閉しづらい。 ・西校舎階段手摺にスレがある。	・湿度の高い日は、校舎全体で結露する。 ・校舎の廊下の壁に何か所かひびが入っている。 ・体育館放送室の壁に塗装割れの亀裂が入っている。	・雨漏りをする少人数教室の天井と中央廊下天井にシミができています。 ・南校舎1階さくらんぼ1教室後方扉が腐んでいる。	・北校舎西側1F～3F階段壁面に剥がれ落ちている箇所がある。 ・北校舎3F多目的ホールの床面が剥がれている箇所がある。 ・北校舎～南校舎間の2F多目的ホールの天井の一部が剥がれている。
電気設備 (受電盤、分電盤、照明、電話等)	トイレのセンサー照明が点灯しない、LED化されていない	・給食室の給湯器の2つのうち1つ故障中。残りの1つが故障すると、お湯が出なくなる。	・音楽室で漏電があり、一部ブレーカーを落としている			
機械設備	空調	故障が多い、暖房の効が悪い	・西校舎のエアコンの効が悪い。 ・食堂のエアコンの効が悪い（設定温度になるまでに30分間かかる）。		・ルーバーの音がカタカタするところがある。 ・事務室と図書館のエアコンが古く、効が悪い。	・給食室回転釜の排水溝が流れにくい。
	給排水	男子トイレで排水の詰まりがよく起こる	・昨年度、火災時、消火のための水が通っている管が破損して地面から水が出てきた。その際、いずれの管も、老朽化している可能性は高く、同様のことが起きる可能性は高いと言われた。			
	衛生機器	和式便器しかない				
その他意見等		・学校に雷が落ちない仕組み（学校付近に避雷針の設置など）はありますか。 （以前学校に雷が落ちた際、エアコンの故障等の被害が大きかったため）		・建物自体の歪みや、窓や扉が開みにくいところが何か所もある。		・職員室南側窓付近が、雨が激しく降ると水が上から漏れてくる。 ・玄関階段北側通路の床ブロックが少し陥没している。

(3) 老朽化状況調査と健全度判定

老朽化状況調査は、令和7(2025)年10月14日～16日に施設の具体的な老朽施設箇所や要望等を記入した事前ヒアリング調査結果の確認と具体的な問題箇所などについて、目視による現地確認を行いました。

老朽化状況の評価方法は、現地調査において目視で確認した劣化状況調査に基づき、屋根・屋上、外壁及び内部仕上げ（床・内壁・梁）を評価します。

また、内部仕上げ（内部建具・間仕切等）、電気設備、機械設備については、事前ヒアリング調査結果、消防点検結果や現地調査時の管理者への聞き取りを加味したうえで、部位の全面的な改修年からの経過年数を基本にA、B、C、Dの4段階評価を行います。

健全度は、対象施設の屋根・屋上、外壁、内部仕上げ、電気設備、機械設備の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標です。健全度は、数値が低いほど劣化が進んでいることを表しています。次に、評価基準と健全度について示します。

◆評価基準

評価基準

目視による評価【屋根・屋上、外壁】

	評価	基準
良好	A	概ね良好
	B	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)
	C	広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)
劣化	D	早急に対応する必要がある (安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等

経過年数による評価 【内部仕上、電気設備、 機械設備】

	評価	基準
良好	A	20年未満
	B	20～40年
	C	40年以上
劣化	D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

資料：文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」

健全度とは、各建物の部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標です。①部位の評価点と②部位のコスト配分を下表のように定め、③健全度を100点満点で算定します。なお、②部位のコスト配分は、文部科学省の「長寿命化改良事業」の校舎の改修比率算定表を参考に設定することが考えられます。下表は、同算定表における外装と建具（外部）を合わせて外壁とし、内装と建具（内部）を合わせて内部仕上げとし、機械設備に昇降機を含め、「長寿命化」の改修比率を屋根・屋上と外壁に按分しています。（下記例では6%を案分している。）部位を追加・変更する場合は、適宜コスト配分を設定し直す必要があります。

◆健全度の算定

①部位の評価点

	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

②部位のコスト配分(例)

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	4.2
2 外壁	14.9
3 内部仕上げ	21.3
4 電気設備	9.0
5 機械設備	16.6
計	66

③健全度

$$\text{総和(部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 66$$

※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている。
 ※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。

（右図「劣化状況調査票」記入例における健全度計算例）

	評価		評価点		配分	
1 屋根・屋上	C	→	40	×	4.2	= 168
2 外壁	D	→	10	×	14.9	= 149
3 内部仕上げ	B	→	75	×	21.3	= 1,598
4 電気設備	A	→	100	×	9.0	= 900
5 機械設備	C	→	40	×	16.6	= 664
						計 3,479
						÷ 66
						健全度 53

◆老朽化状況調査の調査票

【 劣化状況調査票 】

通し番号						
学校名			学校番号		調査日	
建物名					記入者	
棟番号				建築年度	年度(年度)	
構造種別		延床面積		m ²	階数	地上 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	☐ アスファルト保護防水			☐ 降雨時に雨漏りがある			
	☐ アスファルト露出防水			☐ 天井等に雨漏り痕がある			
	☐ シート防水、塗膜防水			☐ 防水層に膨れ・破れ等がある			
	☐ 勾配屋根(長尺金属板、折板)			☐ 屋根葺材に錆・損傷がある			
	☐ 勾配屋根(スレート、瓦類)			☐ 笠木・立上り等に損傷がある			
	☐ その他の屋根 ()			☐ 樋やルーフドレンを目視点検できない			
				☐ 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	☐ 塗仕上げ			☐ 鉄筋が見えているところがある			
	☐ タイル張り、石張り			☐ 外壁から漏水がある			
	☐ 金属系パネル			☐ 塗装の剥がれ			
	☐ コンクリート系パネル(ALC等)			☐ タイルや石が剥がれている			
	☐ その他の外壁 ()			☐ 大きな亀裂がある			
	☐ アルミ製サッシ			☐ 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	☐ 鋼製サッシ			☐ 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	☐ 断熱サッシ、省エネガラス			☐ 外部手すり等の錆・腐朽			
				☐ 既存点検等で指摘がある			

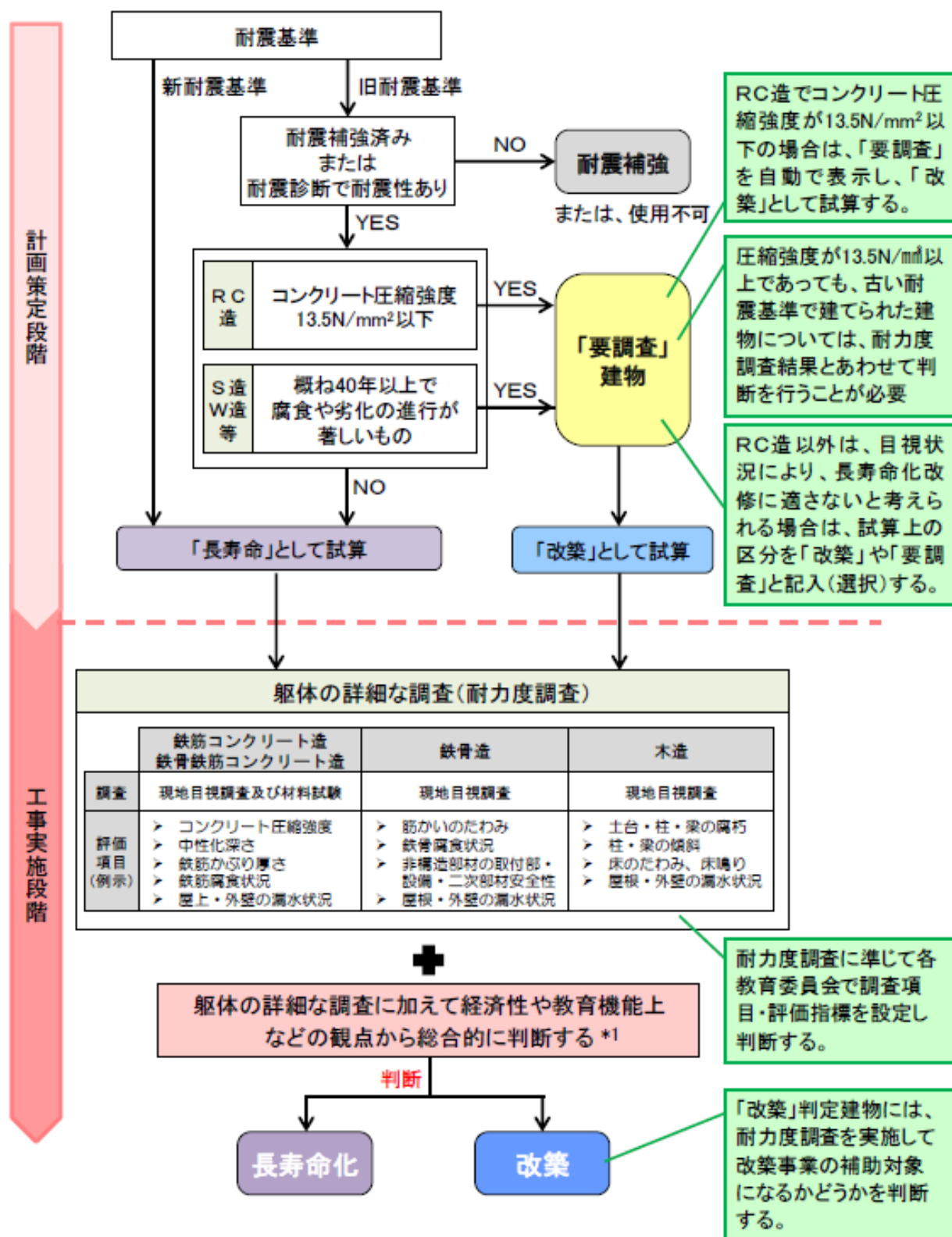
部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	☐ 老朽改修			
	☐ エコ改修			
	☐ トイレ改修			
	☐ 法令適合			
	☐ 校内LAN			
	☐ 空調設置			
	☐ 障害児等対策			
	☐ 防犯対策			
	☐ 構造体の耐震対策			
	☐ 非構造部材の耐震対策			
4 電気設備	☐ その他、内部改修工事			
	☐ 分電盤改修			
	☐ 配線等の敷設工事			
	☐ 昇降設備保守点検			
5 機械設備	☐ その他、電気設備改修工事			
	☐ 給水配管改修			
	☐ 排水配管改修			
	☐ 消防設備の点検			
	☐ その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

--

健全度
0 / 100点

◆長寿命化の判定フロー



資料：文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」

(4) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況評価

① 建物情報（評価結果）一覧表

構造躯体の健全性について、新耐震基準にて建設された建物及び旧耐震基準の鉄筋コンクリート造（RC造）、耐震診断の結果、耐震性があり耐震補強が不要な建物や耐震性がないため耐震補強を実施した建物については、躯体の健全性が確保されているものとします。評価の結果、大刀洗小学校の校舎1及び大堰小学校の校舎1は「改築」と判定し、その他の旧耐震基準の棟に関しては「長寿命」と判定し、計画的に長寿命化を進めます。

構造躯体以外の劣化状況は、現地調査により得られた各部位の評価及び健全度から、劣化優先順位づけや保全の方針、基準の見直し等、施設の中長期の保全計画につなげます。以下に、構造躯体以外の劣化状況評価を示します。

◆劣化状況評価

■ : 築50年以上

■ : 築30年以上

A : 概ね良好

C : 広範囲に劣化

B : 部分的に劣化

D : 早急に対応する必要がある

建物基本情報											構造躯体の健全性					劣化状況評価						
通し 番号	学校調査 番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定		屋上 根	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	設 機 械	健全度 (100点 満点)	
								西暦	和暦		基準	診断	補強	調査 年度	圧縮強度 (N/㎡)							試算上 の区分
1	2491	大刀洗小学校	校舎1	004,006,008	RC	2	1,793	1963	S38	62	旧	済	済	H21	8	要調査	C	D	C	A	A	57
2	2491	大刀洗小学校	校舎2	015,019	RC	2	1,849	1989	H元	36	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	A	A	85
3	2491	大刀洗小学校	校舎3	014	RC	1	566	1986	S61	39	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77
4	2491	大刀洗小学校	屋内運動場	013,017	RC	1	624	1973	S48	52	旧	済	-	H16	-	長寿命	B	D	C	C	C	35
5	2492	菊池小学校	校舎1	022,023,024,032	RC	2	2,049	1987	S62	38	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
6	2492	菊池小学校	校舎2	011,013,014,027,029,018	RC	2	1,819	1970	S45	55	旧	済	済	H21	14.3	長寿命	B	D	C	A	A	59
7	2492	菊池小学校	校舎3	020,021	RC	1	655	1983	S58	42	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	94
8	2492	菊池小学校	校舎4	033	RC	2	703	2024	R6	1	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100
9	2492	菊池小学校	屋内運動場	015,028	RC	1	622	1975	S50	50	旧	済	-	H15	17.7	長寿命	B	D	C	C	C	35
10	2493	本郷小学校	校舎1	016,018,019	RC	3	4,025	1982	S57	43	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	A	A	85
11	2493	本郷小学校	屋内運動場	015,021	RC	1	803	1977	S52	48	旧	済	-	H15	-	長寿命	A	B	C	A	A	75
12	2494	大堰小学校	校舎1	003,004,016,017	RC	2	1,652	1963	S38	62	旧	済	済	H20	10.7	要調査	B	C	B	A	A	77
13	2494	大堰小学校	校舎2	011	RC	2	685	1970	S45	55	旧	済	済	H20	14.8	長寿命	D	C	B	A	A	73
14	2494	大堰小学校	校舎3	014	RC	2	905	1986	S61	39	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	A	93
15	2494	大堰小学校	屋内運動場	012	RC	1	782	1977	S52	48	旧	済	-	H15	17.7	長寿命	B	B	C	A	A	73
16	4705	大刀洗中学校	校舎1	022,019	RC	3	4,640	2007	H19	18	新	-	-	-	-	長寿命	A	D	B	A	A	72
17	4705	大刀洗中学校	校舎2	015	RC	2	2,753	1988	S63	37	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	A	A	85
18	4705	大刀洗中学校	屋内運動場	009-1,009-2,018	RC	1	941	1967	S42	58	旧	済	-	H17	17.7	長寿命	A	B	B	B	A	83

作図：文部科学省提供ソフト

② 各部位における劣化状況

「屋根・屋上」、「外壁」、「内部仕上」、「電気設備」、「機械設備」の5つの部位における劣化状況（A、B、C、Dの4段階評価）は、以下の表の通りです。

劣化状況調査の結果、「屋根・屋上」「外壁」には、C評価及びD評価となるものがあり、C評価においては、今後計画的な更新の検討が必要となり、D評価においては早急な対応が必要と判断されます。

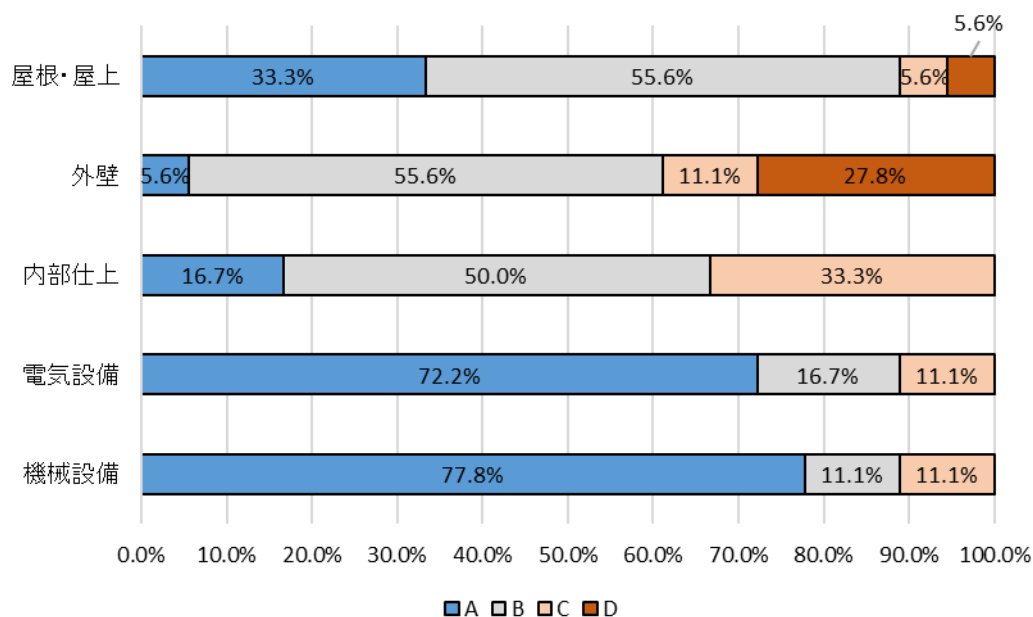
また、内部仕上、電気設備、機械設備について、B評価が約5割、C評価が約3割と全体の約8割を占めており、今後、計画的な更新の検討が必要です。

◆部位別の劣化状況による4段階評価

(単位:棟)

	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備
A	6	1	3	13	14
B	10	10	9	3	2
C	1	2	6	2	2
D	1	5	0	0	0
計	18	18	18	18	18

◆部位別の劣化状況による4段階評価の割合



◆「屋根・屋上」「外壁」における劣化評価の分布と評価事例

屋根・屋上	評価事例	
劣化評価の分布	A評価	B評価
改修等が行われている33.3%はA評価となり、半数以上(55.6%)はB評価という結果になりました。 C評価は1棟(5.6%)となり、防水シートの破れや内部天井に漏水痕が広範囲に見られます。 D評価は1棟(5.6%)となり、防水シートのよれや亀裂、排水不良が見られ、現在も教室で雨漏りが発生している箇所が見られました。 【評価基準】 A: 良好(汚れている程度、改修後10年以内) B: 部分的に膨れ、変質等がある C: 広範囲(概ね25%以上)にひび割れや変質等がある D: 広範囲に損壊、幅広のひび割れ等がある。または雨漏りしている	菊池小学校(校舎3) 屋上防水シート汚れはあるものの概ね健全	本郷小学校(校舎1) 屋上防水シート水はけ不良、劣化
	C評価	D評価
	大刀洗小学校(校舎1) 防水シート破れ(一部)、継ぎ目劣化、天井に漏水シミ(広範囲)	大堰小学校(校舎2) 屋上防水シートよれ、亀裂、教室で雨漏り継続中

外壁	評価事例	
劣化評価の分布	A評価	B評価
増築された校舎1棟(5.6%)はA評価となり、半数以上(55.6%)はB評価という結果になりました。 C評価は2棟(11.1%)となり、広範囲にひび割れが見られ、大堰小学校(校舎1)では階段部分に外壁からの漏水が一部で見られます。 D評価は5棟(27.8%)となり、鉄筋暴露やモルタル落下など、人的被害が出る可能性がある棟が対象で、早急には正が必要となってきます。 【評価基準】 A: 良好(汚れている程度) B: 部分的にひび割れ、変質等がある C: 広範囲(概ね25%以上)にひび割れや変質等がある D: 広範囲に剥落、鉄筋の露出(5箇所以上)、幅広のひび割れ等がある	菊池小学校(校舎4) 健全である	大刀洗小学校(校舎2) 軒天、外壁に小さなクラック、苔汚れ
	C評価	D評価
	大堰小学校(校舎1) 柱にクラック、鉄腐食部落下、外壁からの漏水(一部)	大刀洗中学校(校舎1) 軒天・外壁塗装剥がれ多数、落下の危険性あり、柱化粧石一部破損、外壁からの漏水

(5) 整備レベルの把握と評価

現状の施設に望まれる機能や性能は、設置当初と比べ、大きく変容しています。このため、計画では劣化状況への対応に加え、施設の整備レベル向上への対応が必要となります。今後求められる整備レベルを検討するため、現状の整備レベルを把握・評価します。

把握項目ごとに現在の達成状況を段階評価

- ・未改修で目標を達成していない … I.未対応 0%
- ・一部分のみ目標を達成している … II.部分的に対応 25%
- ・半分は目標を達成 … III.半分まで対応 50%
- ・一部の箇所だけが未達成 … IV.部分的に未対応 75%
- ・全ての箇所で目標達成している … V.全て対応 100%

① 達成度ごとの評価点

	評価点
I	0
II	25
III	50
IV	75
V	100

② 点数の計算

評価点×重みづけの総和÷重みづけ合計

評価点の総和を評価した項目数で割ることで、項目数が変わっても、項目全てが「V.全て対応」の時に100点、項目全てが「I.未対応」の時に0点となる。

資料：文部科学省「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」

◆整備レベルの評価結果

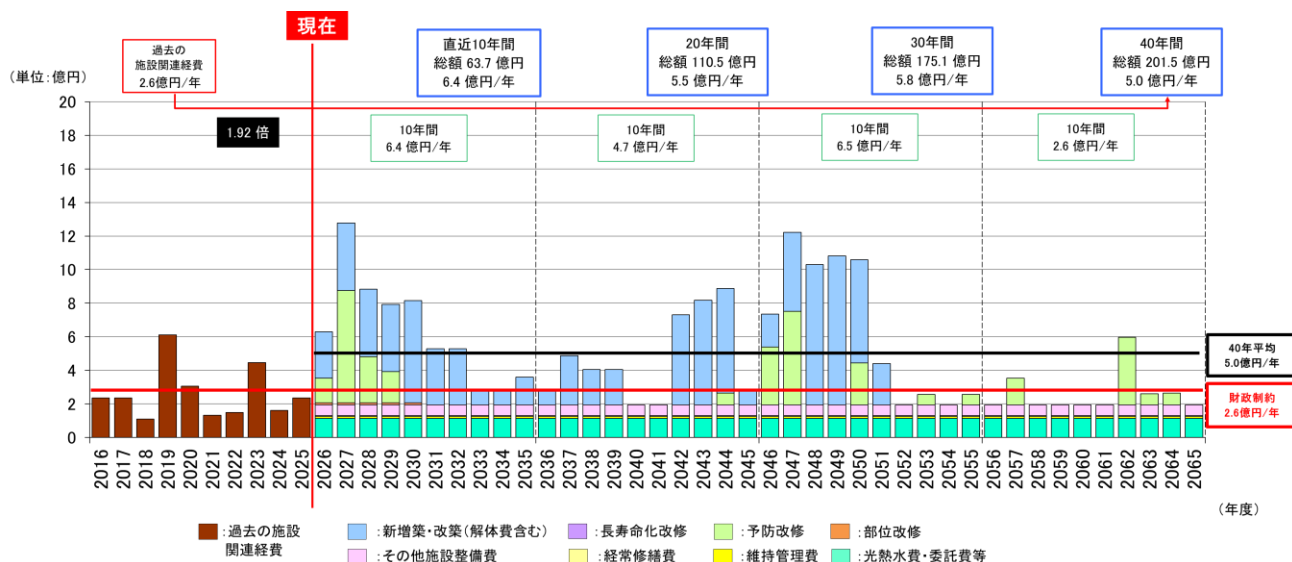
通し 番号	学校調査 番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床 面積(m ²)	建築年度		築年数	省エネ・ 脱炭素	バリア フリー	ICT	学習 環境等 の整備	エレベーター	アスベスト 対策	非構造 部材の 耐震	トイレ 環境	防災	防犯	達成度 (100点満点)
								西暦	和暦												
1	2491	大刀洗小学校	校舎1	004.006.008	RC	2	1,793	1963	S38	62	IV	II	IV	V	I	V	II	V	IV	IV	66
2	2491	大刀洗小学校	校舎2	015.019	RC	2	1,849	1989	H元	36	IV	II	II	V	I	V	II	V	IV	IV	61
3	2491	大刀洗小学校	校舎3	014	RC	1	566	1986	S61	39	IV	V	—	—	—	V	II	III	III	III	64
4	2491	大刀洗小学校	屋内運動場	013.017	RC	1	624	1973	S48	52	II	IV	—	V	—	V	II	—	IV	IV	68
5	2492	菊池小学校	校舎1	022.023.024.032	RC	2	2,049	1987	S62	38	IV	II	III	V	II	V	II	III	IV	IV	60
6	2492	菊池小学校	校舎2	011.013.014.027.029.018	RC	2	1,819	1970	S45	55	IV	II	IV	V	I	V	II	V	IV	IV	66
7	2492	菊池小学校	校舎3	020.021	RC	1	655	1983	S58	42	IV	I	—	—	—	V	II	III	III	III	51
8	2492	菊池小学校	校舎4	033	RC	2	703	2024	R6	1	IV	I	V	V	I	V	III	V	V	V	75
9	2492	菊池小学校	屋内運動場	015.028	RC	1	622	1975	S50	50	I	IV	—	V	—	V	II	—	IV	IV	66
10	2493	本郷小学校	校舎1	016.018.019	RC	3	4,025	1982	S57	43	IV	II	IV	V	I	V	III	V	IV	IV	69
11	2493	本郷小学校	屋内運動場	015.021	RC	1	803	1977	S52	48	IV	IV	—	V	—	V	II	V	III	IV	75
12	2494	大堰小学校	校舎1	003.004.016.017	RC	2	1,652	1963	S38	62	IV	II	IV	V	I	V	III	V	IV	IV	69
13	2494	大堰小学校	校舎2	011	RC	2	685	1970	S45	55	IV	II	IV	V	I	V	III	V	IV	IV	69
14	2494	大堰小学校	校舎3	014	RC	2	905	1986	S61	39	IV	II	II	V	I	V	II	V	IV	IV	61
15	2494	大堰小学校	屋内運動場	012	RC	1	782	1977	S52	48	IV	IV	—	V	—	V	II	V	III	IV	75
16	4705	大刀洗中学校	校舎1	022.019	RC	3	4,640	2007	H19	18	V	IV	IV	V	V	V	III	V	IV	IV	85
17	4705	大刀洗中学校	校舎2	015	RC	2	2,753	1988	S63	37	V	II	IV	V	I	V	III	V	IV	IV	71
18	4705	大刀洗中学校	屋内運動場	009-1.009-2.018	RC	1	941	1967	S42	58	I	I	—	V	—	V	II	V	III	IV	59

作図：文部科学省提供ソフト

（６）長寿命化型整備方法による維持・更新コスト

本計画における対象建築物（18 棟）の維持・更新コストについて、文部科学省提供の試算ソフトにより、すべて「改築」を前提として試算した場合、今後 40 年間の維持・更新コストは、総額で 201.5 億円と試算され、1 年あたり約 5.0 億円の維持・更新コストが必要になると試算されます。

◆今後の維持・更新コスト（改築型）

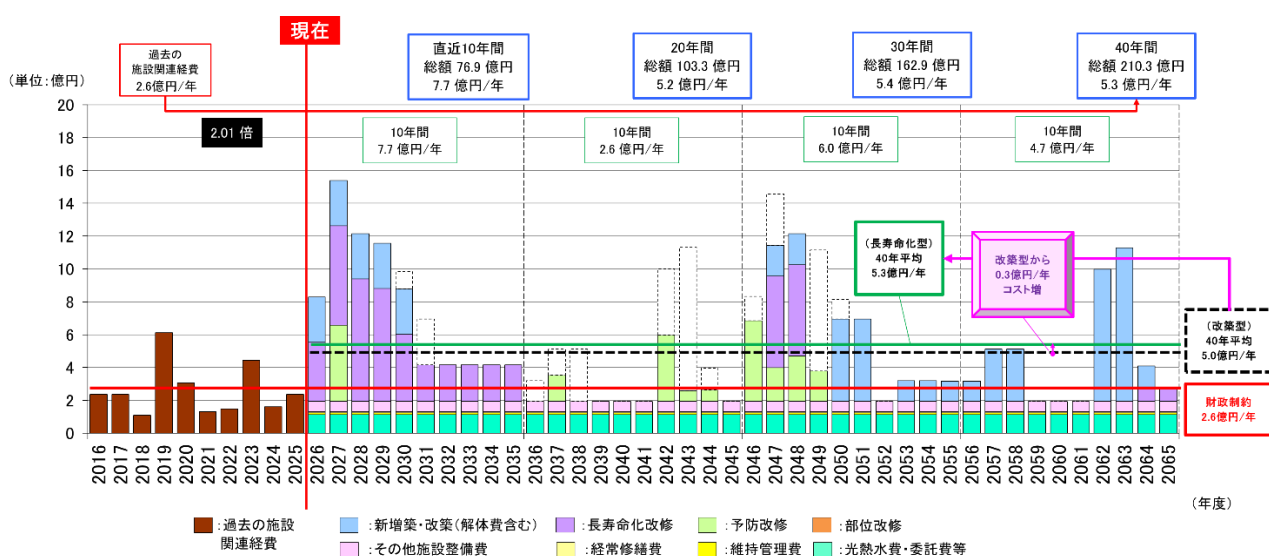


作図：文部科学省提供ソフト

学校施設の計画的な機能回復・向上に向けた修繕・改修を行う長寿命化型に整備手法をシフトした場合の試算期間 40 年間の維持・更新コストは、以下のグラフの通りとなります。

試算の結果、今後 40 年間の維持・更新コストは、総額 210.3 億円、年平均 5.3 億円のコストが必要となります。改築型と比較すると、40 年間の総額は上がり、改築時期より前に部分修繕や長寿命化改修を行う結果となります。

◆今後の維持・更新コスト（長寿命化型）



作図：文部科学省提供ソフト

第4章 学校施設整備の基本的な方針等

1. 学校施設の規模・配置計画等の方針

(1) 学校施設の長寿命化計画の基本方針

総合管理計画における施設整備の方針と整合しつつ、学校施設の実態や目指すべき姿等を踏まえ、今後の学校施設の規模や配置計画に関する方針について定めます。

公共施設等総合管理計画の基本方針	1. 公共施設の保有総量の圧縮、集約化、複合化 公共施設の更新にあたっては、総合的な判断のもと、施設更新の優先順位付けを行った上で、規模を縮小することを基本として規模の適正化を図ります。 その際、同一または類似の機能を有する施設については集約化の検討を、機能の異なる施設については複合化の検討を進めます。 2. 公共施設の長期利活用のための安全性の確保と長寿命化 事後保全ではなく、予防保全の考え方にに基づき、適正な修繕を行うとともに、優先順位を検討しつつ施設の長寿命化によるトータルコストの縮減、平準化を推進します。 3. 公共施設の管理運営費用の見直しと民活化 省エネルギー設備の導入等により、ライフサイクルコストの軽減を図ることに加え、施設の稼働率向上に取り組み、適正な利用料を設定するなど受益者負担の見直しも検討します。 また、民間事業者を活用することによる効果と課題や必要性等を総合的に検証した上で民間活力導入の検討を進めます。 4. ユニバーサルデザイン化の推進 改修や更新等を行う際には、誰もが利用しやすいようユニバーサルデザインの対応に努めます。 5. 脱炭素化の推進 公共施設の建替えや長寿命化改修・大規模改造の際は、再生可能エネルギー設備の導入の検討を行います。
公共施設等総合管理計画の施設類型別方針 【学校】	●鉄筋コンクリート造の建物は、更新・改修費用平準化のため80年型の長寿命化を図り、更新の際は規模の適正化を検討します。 ●小学校の屋内運動場は、更新の際、小学校区施設に分類される社会系施設との複合化を検討し、複合化の際は規模の適正化を検討します。 ●倉庫等の附帯施設は、主体施設の更新時に主体施設への統合を検討します。



学校施設の長寿命化計画の基本方針

公共施設等総合管理計画の基本方針・施設類型別方針



総合管理計画における基本方針や施設類型別方針に即し、学校施設の長寿命化や維持・管理に関する基本方針を以下に定めます。

学校施設の長寿命化計画の基本方針

1. 児童・生徒の安全・安心を守る計画的保全と長寿命化の推進

児童・生徒が生活する場でもあることから、定期的な日常点検、必要に応じて劣化診断などを実施し、施設の状態や劣化状況の把握、危険・不具合箇所の早期発見に努めながら、劣化や危険性が認められた箇所については、すみやかに修繕又は安全対策を実施します。

施設の更新については、建替えから長寿命化改修による建物の長寿命化に切り替え、部位改修を併用した整備を行います。

また、適切な維持管理による財政負担の平準化及び計画的に予防保全的な部分修繕・改修を行うことにより、ライフサイクルコストの削減を図ります。

2. 町民ニーズに対応した施設の有効活用

現在の学校施設の活用を増進し、学校の多目的利用・複合化により町民に身近で便利な地域のコミュニティ、スポーツ、防災拠点化を推進します。

また、更新にあわせ、利用者の利便性と安全性の向上のため、バリアフリー化を推進します。

3. まちづくりと連動したマネジメントの推進

学校施設の整備に際しては、PPP等、民間を活用し、財政負担の軽減とまちの賑わいづくりを推進します。

また、施設を維持・保全していくため、県及び民間事業者との連携・協働を推進します。

4. 施設保有量の最適化

今後、児童数、生徒数の増減や分布に注視し、将来的には、必要に応じ適正規模・適正配置について検討します。

その際、地域の公民館といった社会教育施設、スポーツ施設等の地域の実状に応じた機能の再編についても検討します。

（２）学校施設の規模・配置計画等の方針

本町は、結婚から子育てまで、切れ目ない施策を積極的に展開することによる合計特殊出生率の向上や定住・移住施策に積極的に取組むことによる、転出抑制・転入促進を行うこととしており、児童・生徒数の将来推計結果を踏まえると、現時点では、学校施設の縮小は必要ないと考えられます。

本計画において、町内の学校施設は、原則として現在の規模・配置を維持します。

ただし、小学校間の児童数のアンバランス化の改善や児童数、生徒数に対する規模の適正化は、今後、必要になると考えられます。

今後、児童数、生徒数の増減や分布に注視し、必要に応じ、学校施設の利用用途見直しや民間・地元との連携による管理床面積の縮小を検討します。

将来的に児童数、生徒数の確保が見込めない施設が生じた場合、施設の統廃合や廃止について検討します。

将来的に標準規模に達していない学校施設が発生した場合、統合・閉校や小中一貫校への移行など、以下の点を考慮して、保有量の適正化に努めます。

（イ）学校施設の減築

1 学年あたりの児童・生徒数が、平均 20 人以下になっている大堰小学校など、現状では、空き教室はありませんが、今後さらに児童・生徒数が減少した場合、学校施設の長寿命化や建替えを行う際に、併せて減築についても考慮します。

（ロ）隣接校との統合

今後、近隣で規模の小さな学校が発生する場合には、通学条件などに考慮し、大刀洗中学校との小中一貫校への移行も含め、統合も検討します。

その場合は、閉校となった施設では跡地利用の検討を行うとともに、避難施設としての防災機能のほか地域活動での活用にも配慮することが必要です。

2. 改修等の基本的な方針

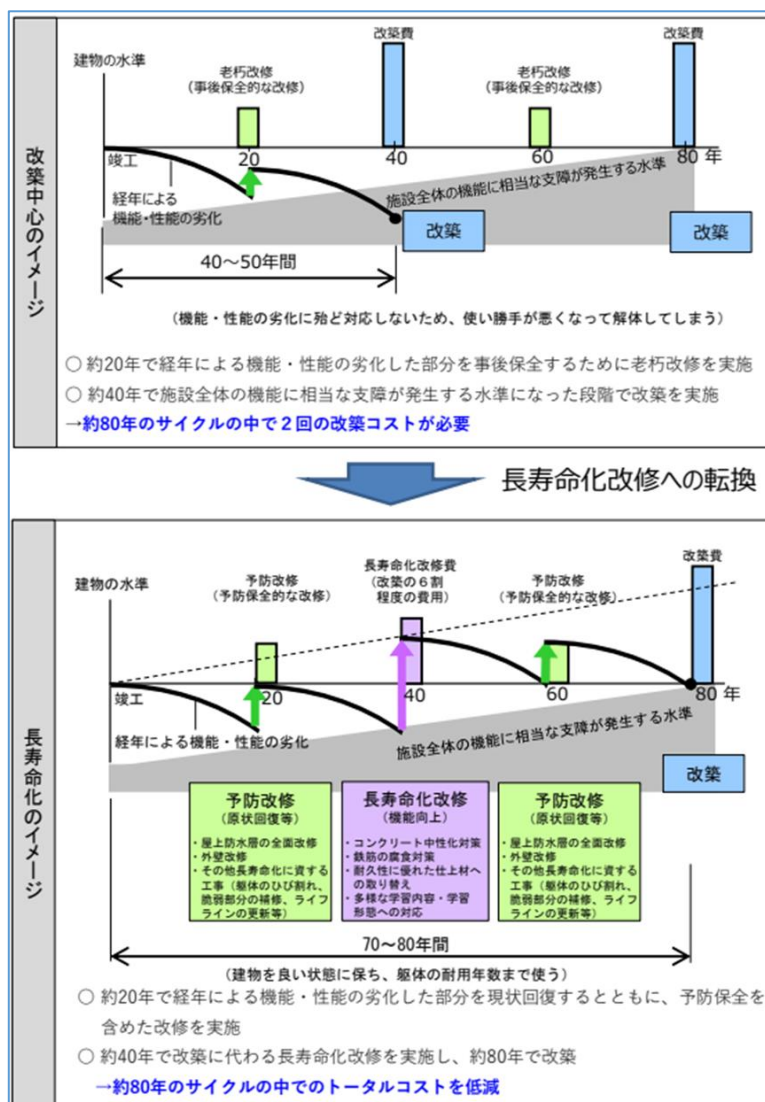
(1) 長寿命化の方針

本町の今後の厳しい財政状況の下では、改築を中心とした老朽化対策では、対応しきれない場合が生じる恐れがあります。

このことから、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減・予算の平準化を実現するため、改築より工事費が安価で、廃棄物や二酸化炭素の排出量が少ない長寿命化改修への転換を図る必要があります。なお、構造躯体が長期間の利用に適さない場合には、躯体の詳細な調査を行い、長寿命化に適しないと判断された場合は、改築までの期間に応急的な保全を行うなど、当面の安全性・機能性等の確保に努めます。

○改築中心の整備から長寿命化改修中心の整備へ転換を図ります

◆改築中心から長寿化への転換イメージ



資料：文部科学省学校施設の長寿命化計画策定の手引と解説

（２）予防保全の方針

これまでの建物の維持管理は、劣化・破損等の大規模な不具合が生じた際に修繕等を対処療法的に行う「事後保全型」を行ってきました。この方法では、突発的な対応や修繕時期の集中など、十分な老朽化対策や施設整備水準の維持には対応できない可能性があり、建物全体の寿命を縮める要因となっていました。

今後は、定期的な点検・調査の実施とともに、早期の予防的修繕を実施して機能・性能の保持・回復を図る「予防保全型」を導入し、建物の良好な維持と長期間の利用を図ります。これにより、改修や日常的な維持管理の費用を平準化し、中長期的なトータルコストを下げる事が可能となります。

○「事後保全型」から「予防保全型」の維持管理へ転換を図ります

（３）目標使用年数

一般的に鉄筋コンクリート造の建物は、コンクリートのひび割れ・欠けや鉄筋の腐食等の劣化が生じていたとしても、劣化が重度にならない概ね築後 45 年程度までにその劣化の原因を調査し、適切な補修・改修を行うことで耐用年数を伸ばすことができるとされています。「建築物の耐久計画に関する考え方（社団法人日本建築学会・昭和 63 年）」では、用途が学校又は官公庁で鉄筋コンクリート造の場合、目標耐用年数として、普通品質では 50～80 年、高品質の場合は 80～120 年とされています。

○学校系施設の目標使用年数を 80 年とします

◆望ましい目標耐用年数の級と目標耐用年数の級の区分例

用途	鉄筋コンクリート造の目標耐用年数の級		級	代表値	範囲
	高品質の場合	普通品質の場合	Y。100	100年	80～120年
学校・官公庁	Y。100以上	Y。60以上	Y。60	60年	50～80年

資料：建築物の耐久計画に関する考え方（日本建築学会）

（４）改修周期の設定

建物を設定した目標使用年数まで使用し、機能・性能の低下を長期間放置することなく、求められている水準を維持するため、築 20 年経過時点において、原状回復のための大規模改造を行います。また、目標使用年数 80 年の中間期である築 40 年経過時点で長寿命化改修を実施し、その後改築までの期間に再度、原状回復のための大規模改造を行うなど、定期的に必要な改修を計画的に行い長寿命化します。

○大規模改造周期は築 20 年・60 年、長寿命化改修周期は築 40 年とします

◆改修周期の設定

用途	目標使用年数	大規模改造の周期	長寿命化改修の周期
校舎・屋内運動場	80年	築20年・築60年	築40年

第5章 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

1. 改修等の整備水準

長寿命化型改修は、老朽化した施設を将来にわたって長く使い続けるため、物理的に不具合な箇所を修繕するだけでなく、建物の機能や性能を現在の学校系施設に求められている水準まで引き上げる改修です。老朽化状況の実態において把握した現在の劣化状況や学校系施設整備の基本的な方針等を踏まえ、今後の改修等によりどの水準まで引き上げるかを施設の部位ごとに検討し、学校系施設に関する統一的な方針として、今後の改修等による整備水準を設定します。

以下に、長寿命化改修において「耐久性を高めるもの（外部仕上げ）」、「現代の社会的要請に応じ機能向上させるもの（内部仕上げ・設備）」に区分した整備水準表を示します。

◆整備水準表

部 位				建設当初の標準仕様 低 ←	長寿命化改修の整備水準 整備レベル	省エネ型の改修 → 高	修繕レベル
耐久性を 高めるもの	外 部	屋根・屋上	アスファルト防水	被せ工法によるシート防水	外断熱シート防水 (t-25) 外断熱保護防水 (t-20)	クラック補修 浮き部補修	
			シート防水	シート防水張替え			
			スチール鋼板屋根	塗膜防水			
			瓦葺屋根	割れた瓦の葺替え			
		RC造躯体	※構造体の劣化状況調査	躯体の状況に応じた補修	-	ひび割れ補修, 中性化抑制, 断面修復, 鉄筋腐食補修	
		外 壁	RC部	モルタル下地外装塗装材 (リシン吹付け)	耐久性を高める塗装材 (防水型複層塗材)	内断熱	複層塗材
		外部開口部	アルミサッシ スチールサッシ, スチール扉	危険個所の落下防止対策 既存サッシのガラス交換 (複層ガラス等) ガラス飛散安全対策	サッシ交換 (カバー・はつり工法) (複層ガラス)	シーリング打替え 開閉調整 塗装	
給排水設備	給 水	ライニング鋼管	硬質塩化ビニル管による配管の更新	-	-		
機能向上 させるもの	内 部	各室	内装材	一般材料 (E P 塗装)	空気汚染物質発生させない材料に更新	内装の全面撤去・更新 (木質化)	-
			換気設備	自然換気	機械換気	-	-
		部屋・廊下	間仕切壁	スチール枠, アルミ枠, 木製扉	鋼製・アルミ製スクールパーテーション	-	-
			床	Pタイル, シート床, フローリングブロック	床補修, 教室内段差解消, 適切なスロープ設置	床の全面撤去・更新 (木質化)	-
			出入建具	木製扉	鋼製・アルミ製スクールパーテーション, 鋼製建具更新	-	-
		階段室	防火戸	防火戸 (建設時の基準法)	防火戸の改修	-	-
		トイレ	床	ウェット式(タイル仕上げ)	ドライ式(抗菌シート), 段差解消	-	部分タイル張替え
			衛生器具	和式便器, 一般形小便器, 水栓	洗浄機能付便座付洋式便器, 節水型小便器, 自動水栓	節水型小便器, 自動水栓	衛生器具交換
			照明設備	手動照明	自動照明	自動照明	-
	設備	電気設備	照明設備	蛍光灯	LED照明	LED照明(人感・照度センサー付)	蛍光灯(照明器具交換)
		給排水設備	給 水	受水槽方式	直結増圧給水方式	雨水・中水利用	-
		空調設備	冷・暖房	ヒートポンプ式エアコン設置(教室・管理教室)	-	ヒートポンプ式マルチエアコン	-

2. 維持管理の項目・手法等

(1) 維持管理の項目・手法

建物の主な点検調査には、建築基準法第 12 条点検や消防点検など、法令で義務付けられている定期点検があります。これらの定期点検の際に、簡易な老朽度調査も併せて行うことで、老朽状況の進行や危険な箇所を早期に確認することが可能となります。また、簡易な老朽調査結果を施設カルテや学校施設データベースに蓄積更新することで、老朽化の進捗状況に合わせた改修メニューや改修時期などの見直しに役立ちます。

以下に、施設の部位ごとの対応手法について整理します。予防保全を実施すべき部位については、建物構造躯体への影響が大きいことから「計画的な対応が必要＝A」、運転の時間等においてまた点検を介して「不具合があれば故障する前に対応が必要＝B」、「事後保全に対応する部位＝C」に区分し、設定します。

◆維持管理の部位ごとの対応手法

対象部位	具体例	対応手法	理由
建築	屋根・屋上	屋上防水・屋根	A
	外壁	R C 造躯体・外壁ボード	A
	開口部	シャッター・アルミサッシ・スチール扉	B
	内部仕上げ	床・壁・天井内装材	A
電気設備	受変電	受電盤・変圧器・コンデンサー	B
	通信・情報	映像・音響・インターホン	C
	通信・情報(防災)	自動火災報知器・非常警報・非常灯	B
	避雷・屋外	避雷針・外灯	C
機械設備	空調	パッケージエアコン・室外機	C
	換気・排煙	送風機・排煙機	C
	給排水衛生	屋内給水設備・ポンプ	C
	消火	消火栓	B

(2) 情報の更新と整理

日常点検については、今後 2 年周期で点検を行うものとします。また、定期調査報告における調査の項目や方法、判定基準等を定めた「国土交通省告示第 282 号（平成 20 年 3 月 10 日）」を参考として、建築基準法に基づく有資格者による専門的な点検については、3 年ごとの実施に努めます。なお、効率的・効果的に維持管理を実施するため、本計画の構造躯体以外の劣化状況等において使用した「劣化状況調査票」の項目を点検・評価の対象とします。結果の記録は、財政局資産運用課公表の「公共建築物点検マニュアル（平成 25 年 3 月）」の「点検チェックシート」を参考に、点検結果を記録するとともに、新たな劣化状況や改善状況の記録、工事履歴などを設定します。

○日常点検調査は 2 年毎に実施します

○有資格者による専門的点検調査は 3 年ごとの実施に努めます

◆参考：日常点検チェックシート（建築）

V 点検チェックシート

点検日 年 月 日 点検者()

点検のポイント	対象 部位 非該 当	点検結果		メモ欄
		劣化 無	有	
1～3. < 建 築 >				
1. 建物(敷地)				
① 敷地内の舗装などに大きなひび割れ・陥没、傾斜、損傷はないか。	☐	☐	☐	
② 排水溝などに排水不良や損傷はないか。	☐	☐	☐	
③ 塀(補強コンクリートブロック等)や擁壁に著しいひび割れ、破損、傾斜等はないか。	☐	☐	☐	
④ 門やフェンスに腐食(著しい錆)や変形はないか。	☐	☐	☐	
2. 建物(外部)				
2-1 屋上・屋根				
① 屋上床面に歩行上危険なひび割れ、反りや目地部の欠落や防水層等の膨れ等はないか。	☐	☐	☐	
② 排水溝に著しいひび割れ、浮きやゴミ溜まり、植生等はないか。	☐	☐	☐	
③ 屋根ふき材に割れ、変形、腐食(著しい錆)等がないか。	☐	☐	☐	
④ 屋上回りのパラペットの立ち上がり面や笠木に著しいひび割れ、白華や破損はないか。	☐	☐	☐	
⑤ 屋上やバルコニーに設置された手すり・タラップに腐食(著しい錆)やがたつきはないか。	☐	☐	☐	
⑥ 雨樋のつまり、がたつき、破損等や支持金物に腐食(著しい錆)はないか。	☐	☐	☐	
⑦ 煙突本体、接合部や付帯金物に著しいひび割れ、肌分かれ、腐食(著しい錆)等はないか。	☐	☐	☐	
⑧ 設備機器や広告塔等の本体や接合部、支持部分に腐食(著しい錆)や損傷等はないか。	☐	☐	☐	
2-2 外壁				
外壁躯体に異常はないか(以下の該当する項目毎に点検)。 ・鉄筋コンクリート造:鉄筋露出や著しい白華、ひび割れ、欠損等がないか。	☐	☐	☐	
① ・鉄骨造:鋼材に腐食(著しい錆)等はないか。 ・木造:木材の著しい腐朽、損傷や虫害又は緊結金物に腐食(著しい錆)はないか。 ・その他の構造:れんが、石、ブロック等に割れ、ずれ又は変位等や目地モルタルに著しい欠落はないか。	☐	☐	☐	
② 外装仕上げ材(タイル、モルタル、石等)に剥落等や著しい白華、ひび割れ、浮き、錆、変形等はないか。	☐	☐	☐	
③ 吹付け等の塗料仕上げ部分に浮き、剥落等はないか。	☐	☐	☐	
④ 目地、シーリング材にひび割れ等はないか。	☐	☐	☐	
⑤ 広告板、空調設備等で、機器本体及び支持部分等に腐食(著しい錆)や損傷等はないか。	☐	☐	☐	
2-3 外部建具 他				
① 窓やドア本体に腐食(著しい錆)、ネジ等の緩みによる変形はないか。シーリング材にひび割れはないか。	☐	☐	☐	
② 窓ガラスに亀裂その他の損傷はないか。	☐	☐	☐	
③ 扉の開閉時に著しいガタツキはないか。	☐	☐	☐	
④ 施錠、解錠に不具合はないか。	☐	☐	☐	
⑤ 基礎コンクリートに鉄筋露出や著しいひび割れ・欠損等はないか。礎石部にずれはないか。	☐	☐	☐	
⑥ 屋外階段に歩行上支障があるひび割れ等や、手すりにがたつき等がないか。	☐	☐	☐	
⑦ 給気口、排気口、防虫網等に通気不良となる塵埃、障害物がないか。損傷はないか。	☐	☐	☐	
⑧ 土台が木造の場合は、木材の著しい腐朽、損傷や虫害又は緊結金物に腐食(著しい錆)等はないか。	☐	☐	☐	
⑨ 免震装置の鋼材部分に腐食(著しい錆)等はないか。	☐	☐	☐	
3. 建物(内部)				
① 天井、壁、床の仕上げ材に浮き、たわみ、損傷、剥落等はないか。	☐	☐	☐	
② 壁や天井にむやみに物を取り付けていないか。	☐	☐	☐	
③ 階段に歩行上支障があるひび割れ、腐食(著しい錆)等や手すり、滑り止めに損傷はないか。	☐	☐	☐	
室内躯体に異常はないか(以下の該当する項目毎に点検)。 ・鉄筋コンクリート造:鉄筋露出や著しい白華、ひび割れ、欠損等がないか。	☐	☐	☐	
④ ・鉄骨造:鋼材に著しい錆による腐食等はないか。 ・木造:木材の著しい腐朽、損傷や虫害又は緊結金物に腐食(著しい錆)はないか。 ・その他の構造:れんが、石、ブロック等に割れ、ずれ又は変位等や目地モルタルに著しい欠落はないか。	☐	☐	☐	
⑤ 躯体が鉄骨造の場合は、耐火被覆の剥がれ等により鉄骨が露出していないか 防火設備(防火戸、シャッター、ダンパー等)に変形、損傷はないか。	☐	☐	☐	
⑥ 防火設備の建具の動作に支障がないか。 廊下、防火戸、避難ハシゴ、救助袋、避難経路上等を物品がふさいでないか。	☐	☐	☐	
⑦ 防煙壁に亀裂、破損、変形等はないか。	☐	☐	☐	
⑧ トイレ、湯沸し室等に異臭、水漏れはないか。	☐	☐	☐	
⑨ トイレ、湯沸し室等の排水状況は良好か。換気機器は正常に作動し、排気しているか。	☐	☐	☐	
⑩ 点検口本体及び枠にずれ、変形、腐食等がないか。	☐	☐	☐	
⑪ 石綿(アスベスト)の表面の毛羽立ち、繊維のくずれ、たれ下がり等がないか。	☐	☐	☐	
⑫ 石綿(アスベスト)を囲い込み又は封じ込めている部材に亀裂、剥落等はないか。	☐	☐	☐	
⑬ 給気口、排気口、ドアガラリ等に通気不良となる塵埃、障害物がないか。	☐	☐	☐	
⑭ 給気口、排気口、ドアガラリ等に損傷はないか。	☐	☐	☐	

◆参考：日常点検チェックシート（電気・機械・防災設備）

点検のポイント	対象 部位 非該 当	点検結果 劣化		メモ欄
		無	有	
4. < 電気設備 >				
4-1. 受変電・自家発電設備				
① 受変電設備の扉やフェンスは施錠されているか。	☐	☐	☐	
② 受変電設備に錆が発生していないか。	☐	☐	☐	
③ 受変電設備に、異音・異臭はないか。	☐	☐	☐	
○④ 自家発電設備に錆が発生していないか。	☐	☐	☐	
⑤ 燃料は、十分あるか。	☐	☐	☐	
⑥ 冷却水は、十分あるか。（水冷の場合）	☐	☐	☐	
4-2. 分電盤・照明設備				
○① 分電盤に損傷、腐食、錆がないか。異音、異臭が発生していないか。	☐	☐	☐	
○② 分電盤の変形や前に物を置くことによる開閉の障害はないか。	☐	☐	☐	
○③ 照明器具のスイッチの入り切り及び点灯は正常か。	☐	☐	☐	
④ 照明器具や支持金物に損傷、変形がないか。	☐	☐	☐	
4-3. コンセント設備				
○① コンセント、スイッチ、プレートに損傷、変形等がないか。	☐	☐	☐	
○② コンセントや延長コードがたこ足配線になっていないか。	☐	☐	☐	
○③ アースが必要な器具にアースが接続されているか。	☐	☐	☐	
4-4. 屋外電気設備				
○① 外灯にぐらつき、傾き、腐食はないか。	☐	☐	☐	
○② 屋外灯の点灯時間や消灯時間がずれていないか。	☐	☐	☐	
③ 避雷針、テレビアンテナ、支柱に傾き、ぐらつき、腐食、破損等、避雷導線に破断がないか。	☐	☐	☐	
○④ 盤類、ボックス類、電線管に腐食や損傷がないか。	☐	☐	☐	
5. < 機械設備 >				
5-1. 給排水設備				
① 受水槽、高置水槽及び架台、基礎に腐食、漏水、損傷、変形、沈下、固定の緩みがないか。	☐	☐	☐	
○② 受水槽、高置水槽の点検口は、施錠されているか。	☐	☐	☐	
③ オーバーフロー管から水が流出していないか。	☐	☐	☐	
④ オーバーフロー管、通気管の防虫網が破れていないか。	☐	☐	☐	
○⑤ ポンプからの異常振動、異音等はないか。	☐	☐	☐	
⑥ 給水・排水配管から水漏れ、腐食はないか。保温材は濡れていないか。	☐	☐	☐	
⑦ 給水栓より赤水がでていないか。	☐	☐	☐	
⑧ トイレ、手洗い、流しからの排水状況は良好か。	☐	☐	☐	
○⑨ 排水口より異臭がしないか。	☐	☐	☐	
5-2. ガス設備				
○① ガス湯沸器、ガスコンロ及びガス管からガス臭がしていないか。	☐	☐	☐	
○② ガス管にひび割れなどの劣化はないか。	☐	☐	☐	
○③ ガス器具やその支持金物に変形、腐食がないか。	☐	☐	☐	
5-3. 暖房・空調・換気設備				
① 各機器（内部、外部共）の損傷、変形、腐食（著しい錆）はないか。異常振動、異音はないか。	☐	☐	☐	
② 各機器（内部、外部共）の固定（基礎、ボルト等）に亀裂、腐食（著しい錆）、ゆるみはないか。	☐	☐	☐	
③ 配管、バルブに変形、破損、腐食（著しい錆）はないか。また水漏れや油漏れの痕跡はないか。	☐	☐	☐	
○④ 吹出口、吸込口にほこりが著しく付着していないか。前に物が置かれていないか。異音はないか。	☐	☐	☐	
⑤ 送風機等は正常に作動しているか。異音はないか。換気風量の極端な変化はないか。	☐	☐	☐	
⑥ ダクト、ダンパー及び支持金物類に損傷、腐食（著しい錆）変形がないか。	☐	☐	☐	
⑦ 防火ダンパーは、「閉」になっていないか。	☐	☐	☐	
6. < 防災設備 >				
6-1. 自動火災報知設備				
○① 受信機、発信機等に埃が付着していないか。	☐	☐	☐	
○② 感知器に著しい汚れ、損傷等がないか。	☐	☐	☐	
6-2. 非常照明、誘導灯設備				
① 非常照明器具は点灯するか。	☐	☐	☐	
○② ロッカー等により非常照明器具等が隠れていないか。	☐	☐	☐	
6-3. 消火設備				
① 消火器、消火栓の前等に物を置いていないか。	☐	☐	☐	
② 屋内消火栓箱に変形や腐食がないか。また、開閉することができるか。	☐	☐	☐	
6-4. 排煙設備				
① 排煙窓が備品や書類で開放不能になっていないか。	☐	☐	☐	
② 排煙・給気風道に変形、破損又は著しい腐食等はないか。	☐	☐	☐	
○③ 排煙窓操作器（オペレーター）の前に物を置いていないか。	☐	☐	☐	
○④ 排煙窓は作動するか。腐食、変形はないか。	☐	☐	☐	

※ ○印は、法令点検チェック項目にない点検項目。

第6章 長寿命化の実施計画

今後の学校施設の改修等に関する優先順位について設定し、直近5年間に於いて改修を図る建物について年次計画（実施計画）を設定します。

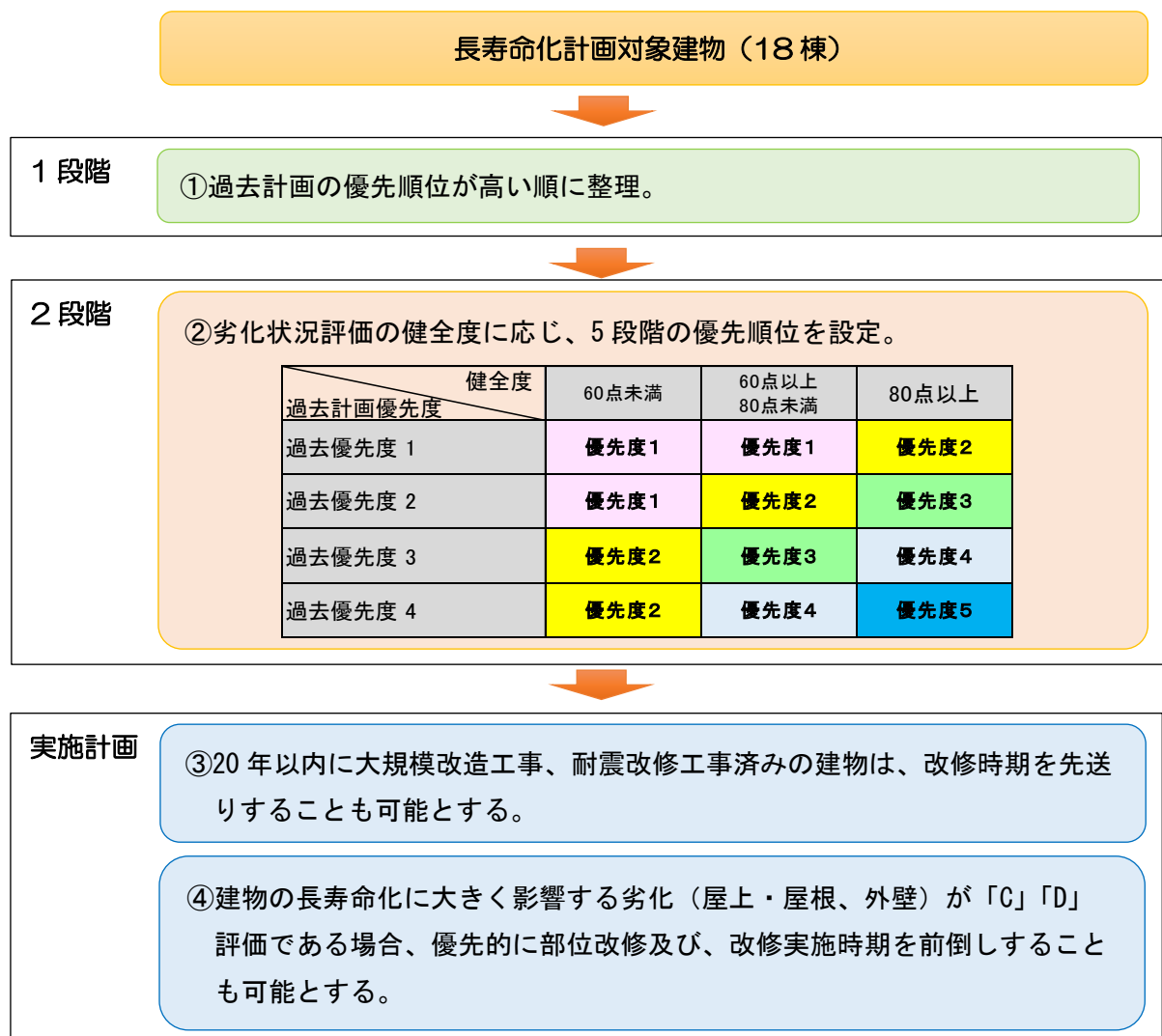
1. 優先順位付けと実施計画

（1）優先順位の設定条件

優先順位の設定にあたっては、第1段階では平成31（2019）年3月に策定した「大刀洗町学校施設長寿命化計画」において、当時計画されていた改修等が現時点までに未実施分の棟を、優先的に実施することとします。

第2段階では、築年数を考慮した上で、さらに劣化状況評価の健全度が60点未満の建物は優先順位を上げて設定します。

実施計画の策定にあたっては、上記の優先順位設定を基本に、過去の大規模改修・耐震改修履歴や、建物の長寿命化に大きく影響する「屋上・屋根」「外壁」の劣化状況評価（特にC・D評価）を確認しながら検討を進めます。



(2) 優先順位の条件

① 過去計画の反映

平成 31（2019）年 3 月に策定した計画において、当時計画されていた改修等の未実施分を優先順位順に以下に記します。

◆過去計画時の 5 年間の整備優先順位

優先 順位	建物基本情報										
	通し 番号	学校調査 番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年数
									西暦	和暦	
1	11	2493	本郷小学校	屋内運動場	015,021	RC	1	803	1977	S52	48
	15	2494	大堰小学校	屋内運動場	012	RC	1	782	1977	S52	48
	1	2491	大刀洗小学校	校舎1	004,006,008	RC	2	1,793	1963	S38	62
2	3	2491	大刀洗小学校	校舎3	014	RC	1	566	1986	S61	39
	17	4705	大刀洗中学校	校舎2	015	RC	2	2,753	1988	S63	37
	2	2491	大刀洗小学校	校舎2	015,019	RC	2	1,849	1989	H元	36
	4	2491	大刀洗小学校	屋内運動場	013,017	RC	1	624	1973	S48	52
	9	2492	菊池小学校	屋内運動場	015,028	RC	1	622	1975	S50	50
	12	2494	大堰小学校	校舎1	003,004,016,017	RC	2	1,652	1963	S38	62
	18	4705	大刀洗中学校	屋内運動場	009-1,009-2,018	RC	1	941	1967	S42	58

参考：大刀洗町学校施設長寿命化計画（平成 31 年 3 月）

② 劣化状況評価の健全度点数順

構造躯体以外の劣化状況評価を点数の低い順に並び変えた表を以下に記します。点数の低い棟が基本的には優先順位は高くなります。

◆構造躯体以外の劣化状況評価の健全度点数順

建物基本情報											構造躯体の健全性					劣化状況評価						
通し 番号	学校調査 番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定		屋 上 根	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全度 (100点 満点)	
								西暦	和暦		基準	診断	補強	調査 年度	圧縮強度 (N/㎡)							試算上の区分
4	2491	大刀洗小学校	屋内運動場	013,017	RC	1	624	1973	S48	52	旧	済	-	H16	-	長寿命	B	D	C	C	C	35
9	2492	菊池小学校	屋内運動場	015,028	RC	1	622	1975	S50	50	旧	済	-	H15	17.7	長寿命	B	D	C	C	C	35
1	2491	大刀洗小学校	校舎1	004,006,008	RC	2	1,793	1963	S38	62	旧	済	済	H21	8	要調査	C	D	C	A	A	57
6	2492	菊池小学校	校舎2	011,013,014,027,029,018	RC	2	1,819	1970	S45	55	旧	済	済	H21	14.3	長寿命	B	D	C	A	A	59
16	4705	大刀洗中学校	校舎1	022,019	RC	3	4,640	2007	H19	18	新	-	-	-	-	長寿命	A	D	B	A	A	72
13	2494	大堰小学校	校舎2	011	RC	2	685	1970	S45	55	旧	済	済	H20	14.8	長寿命	D	C	B	A	A	73
15	2494	大堰小学校	屋内運動場	012	RC	1	782	1977	S52	48	旧	済	-	H15	17.7	長寿命	B	B	C	A	A	73
5	2492	菊池小学校	校舎1	022,023,024,032	RC	2	2,049	1987	S62	38	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75
11	2493	本郷小学校	屋内運動場	015,021	RC	1	803	1977	S52	48	旧	済	-	H15	-	長寿命	A	B	C	A	A	75
3	2491	大刀洗小学校	校舎3	014	RC	1	566	1986	S61	39	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77
12	2494	大堰小学校	校舎1	003,004,016,017	RC	2	1,652	1963	S38	62	旧	済	済	H20	10.7	要調査	B	C	B	A	A	77
18	4705	大刀洗中学校	屋内運動場	009-1,009-2,018	RC	1	941	1967	S42	58	旧	済	-	H17	17.7	長寿命	A	B	B	B	A	83
2	2491	大刀洗小学校	校舎2	015,019	RC	2	1,849	1989	H元	36	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	A	A	85
10	2493	本郷小学校	校舎1	016,018,019	RC	3	4,025	1982	S57	43	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	A	A	85
17	4705	大刀洗中学校	校舎2	015	RC	2	2,753	1988	S63	37	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	A	A	85
14	2494	大堰小学校	校舎3	014	RC	2	905	1986	S61	39	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	A	93
7	2492	菊池小学校	校舎3	020,021	RC	1	655	1983	S58	42	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	94
8	2492	菊池小学校	校舎4	033	RC	2	703	2024	R6	1	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100

作図：文部科学省提供ソフト

(3) 優先順位の設定

前述の条件を総合して、本計画における優先順位を「優先度 1」から「優先度 5」に分類します。
各棟の優先順位を以下の表に記します。

◆優先順位の設定

			健全度 ()内の数値は健全度		
			低  高		
			I (60点未満)	II (60点以上80点未満)	III (80点以上)
過去計画優先度		過去優先度 1	1.大刀洗小学校.校舎1(57点) 4.大刀洗小学校.屋内運動場(35点) 9.菊池小学校.屋内運動場(35点) 優先度 1 (3棟)	11.本郷小学校.屋内運動場(75点) 15.大堰小学校.屋内運動場(73点) 優先度 1 (2棟)	2.大刀洗小学校.校舎2(85点) 17.大刀洗中学校.校舎2(85点) 18.大刀洗中学校.屋内運動場(83点) 優先度 2 (3棟)
		過去優先度 2	6.菊池小学校.校舎2(59点) 優先度 1 (1棟)	3.大刀洗小学校.校舎3(77点) 12.大堰小学校.校舎1(77点) 優先度 2 (2棟)	10.本郷小学校.校舎1(85点) 14.大堰小学校.校舎3(93点) 優先度 3 (2棟)
		過去優先度 3	優先度 2 (0棟)	5.菊池小学校.校舎1(75点) 13.大堰小学校.校舎2(73点) 優先度 3 (2棟)	優先度 4 (0棟)
		過去優先度 4	優先度 2 (0棟)	16.大刀洗中学校.校舎1(72点) 優先度 4 (1棟)	7.菊池小学校.校舎3(94点) 8.菊池小学校.校舎4(100点) 優先度 5 (2棟)
		建物数	(4棟)	(7棟)	(7棟) (18棟)

2. 今後5年間の実施計画の策定

今後の学校施設の整備について、長寿命化改修の検討に取り組みます。また、状況に応じて緊急性の高い漏水問題等について優先的に考慮するとともに、費用が重ならないように部位ごとに分けて長寿命化改修を実施するものとし、今後5年間の実施計画を定めます。整備規模は、学校施設に係る普通建設事業費実績値等の財政状況を考慮し、整備費の平準化を検討したうえで設定します。

令和8～12（2026～2030）年の5年間の実施計画は、緊急性の高いC評価・D評価の屋上、外壁の部位改修を行い、その他整備が必要な箇所を、優先順位をつけて工事を行います。

また、令和9（2027）年末までに蛍光灯の製造・輸出入が禁止されるため、LED照明への交換工事を優先的にを行います。

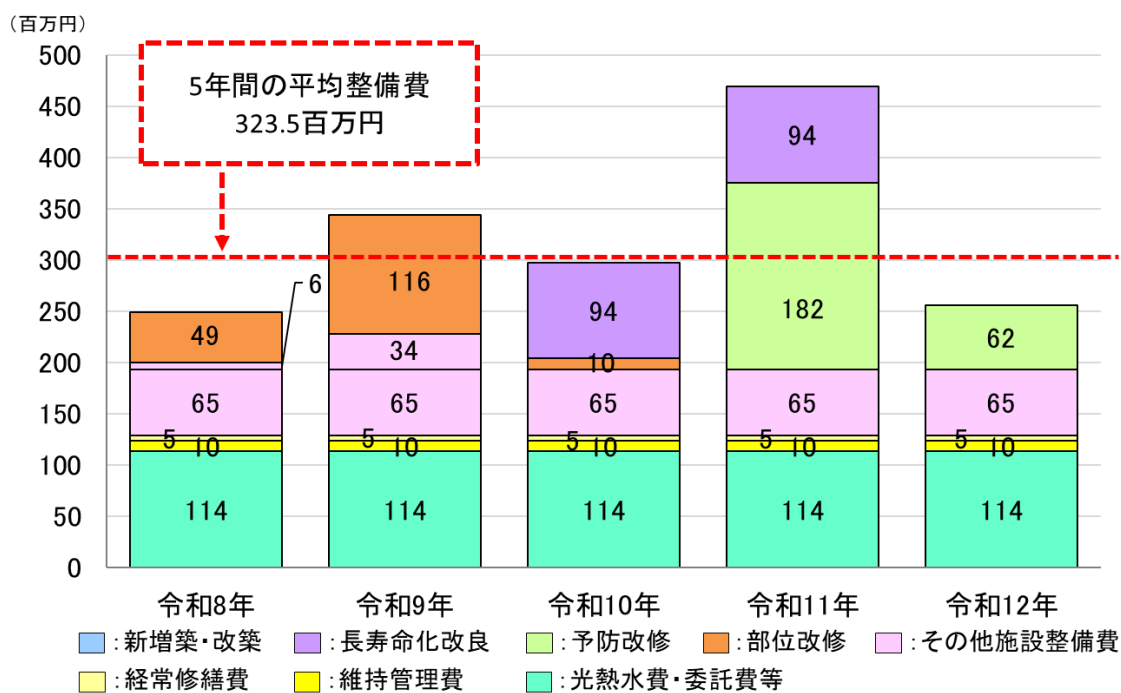
なお、財源については、国の補助金や起債、学校施設整備基金などを適切かつ効果的に活用して財政負担を軽減するものとします。

◆今後5年間の整備計画表（実施計画）

事業名称		2026		2027		2028		2029		2030	
		令和8年		令和9年		令和10年		令和11年		令和12年	
		学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費	学校名	事業費
改築・長寿命化改修等	新増築事業										
	改築事業										
	長寿命化改良事業					15.大堰小学校. 屋内運動場	93.8	15.大堰小学校. 屋内運動場	93.8		
	予防改修事業							6.菊池小学校. 校舎2	181.9	9.菊池小学校. 屋内運動場	62.2
部位改修	劣化対応	1.大刀洗小学校. 校舎1	49.4	16.大刀洗中学校. 校舎1	116.0	13.大堰小学校. 校舎2	10.3				
その他施設整備費	LED化整備	4.大刀洗小学校. 屋内運動場	3.1	1.大刀洗小学校. 校舎1	5.4						
		9.菊池小学校. 屋内運動場	3.1	3.大刀洗小学校. 校舎3	1.7						
				6.菊池小学校. 校舎2	5.5						
				10.本郷小学校. 校舎1	12.1						
				12.大堰小学校. 校舎1	5.0						
				13.大堰小学校. 校舎2	2.1						
				14.大堰小学校. 校舎3	2.7						
	その他		64.6		64.6		64.6		64.6		64.6
経常修繕費			5.4		5.4		5.4		5.4		5.4
維持管理費			10.3		10.3		10.3		10.3		10.3
光熱水費・委託費			113.6		113.6		113.6		113.6		113.6
合計金額			249.5		344.2		298.0		469.6		256.1

作図：文部科学省提供ソフト

◆今後5年間の整備計画（実施計画）



作図：文部科学省提供ソフト

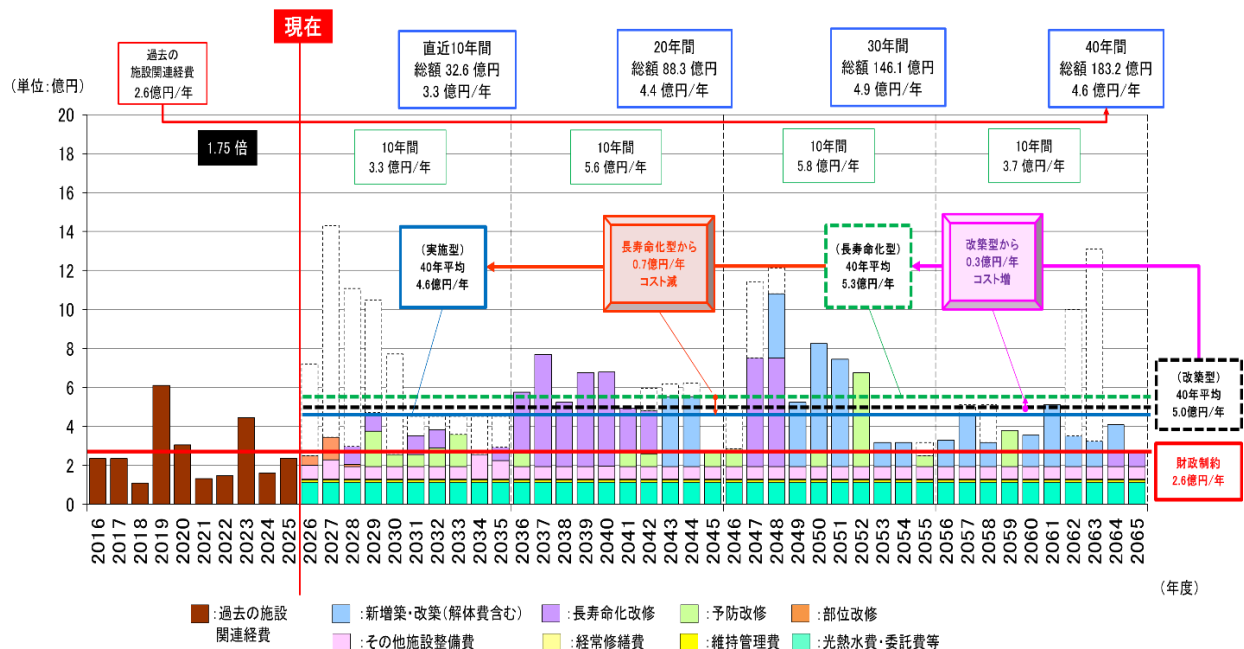
3. 長寿命化のコストの見通しと長寿命化の効果

(1) 長寿命化のコストの見通し

改修項目の優先順位付け及び 5 年間の実施計画を加味した長寿命化のコストの見通しについて、文部科学省ソフトにより試算すると、40 年間の総額は 183.2 億円、40 年間の平均は 4.6 億円/年となります。今後の 10 年間では年平均整備額は、長寿命化型の年平均 7.7 億円から実施型では年平均 3.3 億円へと整備費の平準化が図られる結果となっています。

今後は、直近 5 年間の実施計画及びこれ以降の長寿命化改修や予防保全型の部位改修の導入を検討するとともに、改築もしくは建替えが主体となる 20 年後以降は人口の推移、財政運営状況及び活用状況等を考慮した改築等の減築を検討するなど、更なるコストの縮減に努めます。

◆長寿命化による維持・更新コストの試算（実施型）



作図：文部科学省提供ソフト

(2) 長寿命化の効果

施設の整備を従来の手法から長寿命化に切り替え、計画的な予防保全にシフトすることで、施設を長く使い続けることができるため、安全に配慮した長期利用や有効活用、改築費の軽減が可能となります。

また、改築時期を先に延ばすことができるため、その時点での人口や財政運営状況、地域の実情に応じた学校系施設のあり方を十分検討できる時間的余裕が生まれます。さらに、改築に比べて廃棄物削減ができるとともに、省エネ型の改修を導入することにより、光熱水費の縮減につながるため、トータルの維持・管理コストも縮減されます。以下に今後 5 年間の実施計画を考慮した今後 10 年間の中期整備計画を示します。

◆今後 10 年間の中期整備計画（2026～2035）

単位：千円

建：新・改築
 長：長寿命化改修
 予：予防改修
 部：部位改修
 数字：築年数

建物基本情報											今後の修繕・改修・改築計画												
通し 番号	施設 名	建物 名	棟 番号	構造	階数		延床 面積 (㎡)	建築年度		築年 数	10年後												
					地上	地下		西 暦	和 暦		2 0 2 6	2 0 2 7	2 0 2 8	2 0 2 9	2 0 3 0	2 0 3 1	2 0 3 2	2 0 3 3	2 0 3 4	2 0 3 5			
1	大刀洗小学校	校舎1	004,006,008	RC	2		1793	1963	S38	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72			
											部	LED										空調	
											49,400	5,379											7,172
2	大刀洗小学校	校舎2	015,019	RC	2		1849	1989	H元	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46			
																						空調	
																							7,396
3	大刀洗小学校	校舎3	014	RC	1		566	1986	S61	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49			
												LED										空調	長
												1,698										2,264	67,920
4	大刀洗小学校	屋内運動場	013,017	RC	1		624	1973	S48	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62			
											LED					予							
											3,120					62,400							
5	菊池小学校	校舎1	022,023,024,032	RC	2		2049	1987	S62	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48			
																							空調
																							8,196
6	菊池小学校	校舎2	011,013,014,027,029,018	RC	2		1819	1970	S45	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65			
												LED		予								空調	
												5,457		181,900								7,276	
7	菊池小学校	校舎3	020,021	RC	1		655	1983	S58	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52			
																						空調	
																						2,620	
8	菊池小学校	校舎4	033	RC	2		703	2024	R6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11			
9	菊池小学校	屋内運動場	015,028	RC	1		622	1975	S50	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60			
											LED				予								
											3,110				62,200								
10	本郷小学校	校舎1	016,018,019	RC	3		4025	1982	S57	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53			
												LED										空調	
												12,075										16,100	
11	本郷小学校	屋内運動場	015,021	RC	1		803	1977	S52	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58			
																	長	長					
																	96,360	96,360					
12	大堰小学校	校舎1	003,004,016,017	RC	2		1652	1963	S38	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72			
												LED							予		空調		
												4,956							165,200		6,608		
13	大堰小学校	校舎2	011	RC	2		685	1970	S45	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65			
												LED	屋上									空調	
												2,055	10,275									2,740	
14	大堰小学校	校舎3	014	RC	2		905	1986	S61	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49			
												LED										空調	
												2,715										3,620	
15	大堰小学校	屋内運動場	012	RC	1		782	1977	S52	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58			
														長	長								
														93,840	93,840								
16	大刀洗中学校	校舎1	022,019	RC	3		4640	2007	H19	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28			
												外壁										空調	
												116,000										18,560	
17	大刀洗中学校	校舎2	015	RC	2		2753	1988	S63	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47			
																						空調	
																						11,012	
18	大刀洗中学校	屋内運動場	009-1,009-2,018	RC	1		941	1967	S42	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68			
																			予				
																			94,100				

（３）維持・更新の課題と今後の方針

本計画による建物の健全度や重要度に基づく今後５年間の実施計画を進めた場合、対象となっていない建物における新たな劣化の発生や潜在する改修の積み残しがその後のコスト増大につながることも考慮する必要があります。

また、今後４０年間の維持・更新コストの見通しにおいても、過去５年間の経費実績から比べると大きく、長寿命化や予防保全への切り替えだけでは限界があると考えられます。そのため、大刀洗小学校の屋内運動場倉庫などのように別棟となっている建物を改築の際に、屋内運動場内に機能を持たせるなど、効果的な更新を進めていきます。

今後、本計画をフォローアップしていく中で、長寿命化改修や大規模改造時において、重要度・必要性の低いスペースなどを減築することを検討し、保有量（床面積）の縮小に努めます。さらに、設計は学校ごとに行うと効率が良いことや仮設費用などをはじめとしたコストを抑えるため、学校単位での年次計画にも配慮した計画を検討します。

また、将来的に児童数、生徒数の確保が見込めない施設が生じた場合、施設の統廃合や廃止について検討します。

第7章 長寿命化計画の継続的運用方針

1. 情報基盤の整備と活用

総合管理計画と連携し、公有財産台帳に基づく施設情報を継続的に更新し、施設の実態把握を可能とする効率的な仕組みを検討します。

特に、学校施設長寿命化計画のPDCAサイクルを着実に実行していくために、継続的な実態把握によるデータベースの蓄積、計画・評価のためのシミュレーション、維持・更新コストの適正化検討等、学校施設のマネジメントを支援するシステムの構築を検討します。

また、本計画における各施設の劣化状況評価結果も含め、計画の内容は、策定後、速やかに公開・発信し、広く施設管理者や町民への周知を図ります。

さらに、PDCAサイクルに基づく計画のフォローアップにおいても、点検結果や検証結果の公開を検討します。

学校施設の管理運営・更新については、児童・生徒が安心・快適に学校生活を送るとともに、町民にとってより利便性が高く、利用しやすい施設としていくため、今後も協働の取り組みを推進していきます。

2. 推進体制等の整備

本計画は、こども課が中心となって、学校施設に関する情報を管理・集約し、実施計画を推進します。

また、総合管理計画に位置付けられた「庁内会議」を活用し、関係部署が連携しながら全庁的・横断的な体制で計画を推進していきます。

特に、本計画を効率的に実施していくためには、予算編成部署との連携が必要不可欠であることから、本計画により必要となる費用については、町全体の予算を踏まえながら確保に努めます。

さらに、民間の技術やノウハウを積極的に活用することで、学校施設の質の向上や修繕や改修、更新等にかかる費用の削減が図れる施設については、積極的に民間事業者の活用を進めます。

3. フォローアップ

本計画は、総合管理計画と連携し、計画期間内であっても学校施設の定期的な点検及び実態の把握、計画の進捗状況を点検しつつ、必要に応じ不断の見直し（定期的かつ必要に応じた適宜の見直し）により、本計画の更なる充実を図ります。

フォローアップについては、1年ごとに実施する施設の老朽化に関する点検・評価の結果を踏まえつつ、適宜計画を見直し、実施計画の更新に努めます。

◆長寿命化計画のPDCAサイクル

